

令和4年度学生満足度調査 報告書

令和5年3月
沖縄県立芸術大学

目次

第1章 調査の概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 実施スケジュール	1
(3) 対象学年	1
(4) 調査内容	1
(5) 実施状況	2
第2章 総括	3
(1) 学生生活の状況について	3
(2) 大学についてのイメージ(Q7～Q8)	3
(3) 大学の施設や教育体制、支援体制について	4
第3章 調査結果	6
(1) 学校生活の状況について	6
Q1 住まいの状況	6
Q2 通学時間	6
Q3 通学手段	7
Q4 奨学金の受給状況	7
Q5 アルバイトの状況	8
Q6 アルバイトによる授業・課題への影響	8
(2) 大学についてのイメージ	9
Q7 入学前と比べた、現在の大学のイメージ	9
Q8 Q7について、そのように感じる場面	10
(3) 大学の施設や教育体制、支援体制について	11
Q9 図書館の利用状況	11
Q10 図書館の要望	12
Q11 健室の利用状況	13
Q12 健康管理やカウンセリング体制	13
Q13 健康管理やカウンセリング設備の要望	14
Q14 体育館の利用状況以外	15
Q15 体育館の要望	16
Q16 シャトルバスのダイヤやタクシー利用の満足度	17
Q17 全体オリエンテーションの要望	18
Q18 全学・資格過程オリエンテーションについての要望	19
Q19 全学履修相談についての要望	20
Q20 各専攻別オリエンテーションの要望	21
Q21 シラバスの要望	22
Q22 パソコン設備の要望	23
Q23 UNIPAの閲覧頻度	24
Q24 UNIPAの運用についての要望	25
Q25 リテラシー科目の要望	26
Q26 全学教育科目の要望	27
Q27 オンライン・オンデマンド授業についての要望	28
Q28 初年次セミナーの満足度	29
Q29 初年次セミナーの要望	30
Q30 健康・運動科目の要望	31

Q31 専攻カリキュラムの満足度 -----	32
Q32 専攻カリキュラムの要望-----	33
Q33 教職課程科目の要望 -----	35
Q34 博物館学課程科目の要望 -----	36
Q35 昼食手段 -----	37
Q36 学生食堂の満足度-----	38
Q37 学生食堂の要望-----	39
Q38 事務職員対応の満足度 -----	40
Q39 事務職員対応の要望 -----	41
Q40 卒業後の進路希望-----	42
Q41 就職相談ガイダンス・就職支援アドバイザー -----	43
Q42 進学・就職に関する教員の説明指導 -----	43
Q43 進学・就職に関する要望-----	44
Q44 学生会の設置意向-----	45
Q45 学生生活満足度-----	47
Q46 その他要望・意見-----	48
第4章 クロス集計 -----	51
(1) 学生生活の状況-----	51
(2) 学生生活の状況について -----	57

第1章 調査の概要

(1) 調査目的

本学に在籍している学生(全学部・大学院生)の学生生活を把握するとともに、生活、健康、修学、課外活動、キャンパス(施設)の満足度を調査し、今後の修学支援・福利厚生等の改善に活用することを目的とする。

(2) 実施概要

調査方法	オンライン WEB アンケート
調査実施期間	令和4年 11 月 11 日～令和 5 年 1 月 31 日
有効回収数	304 票

(3) 対象学年

学部学生・大学院生 578 名(令和 4 年 5 月 1 日時点休学者、留学者除く)

(4) 調査内

■学生生活の現状について	22.パソコン設備の要望
1.住まいの状況	23.UNIPAの観覧頻度
2.通学時間	24.UNIPAの運用についての要望
3.通学手段	25.リテラシー科目の要望
4.奨学金の受給状況	26.全学教育科目の要望
5.アルバイト状況	27.オンライン・デマンド授業についての要望
6.アルバイトによる授業・課題への影響	28.初年次セミナーの満足度
	29.初年次セミナーの要望
■大学についてのイメージ	30.健康・運動科目の要望
7.入学前と比べた、現在の大学のイメージ	31.専攻カリキュラムの満足度
8.Q7について、そのように感じる場面	32.専攻カリキュラムの要望
	33.教職課程科目の要望
■大学の施設や教育体制、支援体制について	34.博物館学課程科目の要望
9.図書館の利用状況	35.昼食手段
10.図書館の要望	36.学生食堂の満足度
11.保健室の利用状況	37.学生食堂の要望
12.健康管理やカウンセリング体制	38.事務職員対応の満足度
13.健康管理やカウンセリング設備の要望	39.事務職員対応の要望
14.体育館の利用状況	40.卒業後の進路希望
15.体育館の要望	41.就職相談ガイダンスや支援アドバイザー
16.シャトルバスのダイヤやタクシー利用の満足度	42.進学・就職に関する教員の説明指導
17.全体オリエンテーションの要望	43.進学・就職に関する要望
18.全学・資格過程オリエンテーションについての要望	44.学生会の設置意向
19.全学履修相談についての要望	45.学生生活満足度
20.各専攻別オリエンテーションの要望	46.その他要望・意見
21.シラバスの要望	

(5)実施状況

「学生満足度調査」実施状況

「学生満足度調査」実施状況

回収率	52.6% (回収数÷対象学生)
-----	------------------

2022年5月1日現在

単位(人)

学部	学科	専攻	合計		
			小計	県内	県外
美術 工芸	美術	絵画	53	26	27
		彫刻	23	4	19
		芸術学	27	12	15
	デザイン工芸	デザイン	91	65	26
		工芸	102	26	76
小計			296	133	163

音楽	音楽	音楽表現	105	55	50
		音楽文化	25	10	15
		琉球芸能	47	37	10
小計			177	102	75

合計			473	235	238
----	--	--	-----	-----	-----

研究科	合計		
	小計	県内	県外
造形芸術(修士)	58	46	12
音楽芸術(修士)	32	24	8
芸術文化学(博士)	15	10	5
合計	105	80	25
総合計	578		

第2章 総括

【はじめに】

令和4年11月11日～令和4年1月31日に、本学の全学部生、大学院生の計578名を対象として、「令和4年度学生満足度調査」を実施し、その52.6%にあたる309名から回答を得た。本調査の実施結果について、以下に報告する。

本調査全体の回収率は52.6%であった。

以下の報告書の中では、継続調査として過去調査との時系列比較が重要であることから、各質問項目の集計結果について、前回調査(令和元年度)、前々回調査(平成28年度)と比較して表し、また特徴的な傾向についてコメントを追記している。さらに、設問項目の要望の有無については、クロス集計でまとめている。また、自由記述についても、参考として記述する。

(1) 学生生活の状況について

学生の住まい・通学状況について(Q1～Q3)

学生の住まいについて、過去2回の調査で、「アパート」が5割、「自宅」が4割となっていたが、令和4年度では、「アパート」が4割、「自宅」が5割と反転している。通学時間については、15分～30分未満が35.5%と、過去2回の調査よりも割合が増加し、「15分未満」の割合が24.0%と過去の調査よりも減少している。通学手段については、「乗用車」の割合は4割と、過去2回の調査と比較すると、増加している。

学生の経済状況について(Q4～Q6)

奨学金の受給率は51.9%であり、過去2回の調査と比較すると、受給者の割合は減少している。アルバイトの実施率は62.5%であり、過去2回の調査と同様に6割を超えている。

アルバイトによる授業や課題への影響については、アルバイトをしている学生では、授業への影響を「そう思わない」と回答した割合は44.8%と、「アルバイトをしていない」の割合よりも高いことから、アルバイトと学業の両立ができていると推測できる。一方で、支障を感じている割合も3割いる。

(2) 大学についてのイメージ(Q7～Q8)

イメージについては、イメージ意見をプラスイメージ理由とマイナスイメージ理由に分類した。主な意見は、下記のようなものとなった。

プラスイメージ理由)

- ・イメージよりも学校生活が充実していると思う。 ・とてもいい環境で、設備が充実している。
- ・先生たちが良い人ばかり。 ・沖縄らしくて良い。 ・実技授業が充実している。

マイナスイメージ理由)

- ・当蔵と崎山、キャンパス間の移動時間がかかる ・施設の老朽化が激しい。
- ・教職の課題やレポートが多く、生活に支障がある。 ・事務局の対応があまりよくない。

(3)大学の施設や教育体制、支援体制について

大学施設の利用状況と要望について(Q9～Q16)

図書館の利用状況については、過去2回の調査と比較すると、「ほとんど利用しない」(63.8%)の割合が、令和元年度 51.9%から、11.9 ポイント増加している。図書館の要望については、「ない」の割合が年々増加傾向にある。少数意見の中でも要望意見として多かったのは、蔵書のジャンルや冊数を増やして欲しい、土日休日の開館、貸し出しや延滞手続き等の改善、トイレ設備を良くしてほしいが挙げられる。これらの内容は、過去2回の調査においても同様の要望が見られた。

保健室の利用状況については、「ほとんど利用しない」(86.8%)の割合が過去2回の調査と比較すると最も高くなっている。利用状況と要望についてみると、「年に数回」との回答で、要望が「ある」の割合が高くなっている。必要な時に空いていない事が多いため、毎日開けてほしいとの要望が挙げられている。

体育館の利用状況については、「ほとんど利用しない」(82.6%)の割合が最も高く、過去2回の調査よりも増加している。要望については「ある」の割合が、過去の調査と比較すると減少している。要望「あり」の意見をみると、使用届の形式が分かりやすく簡単であれば、もっと利用したいなどが挙げられている。

シャトルバスの満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた割合(32.9%)が年々増加している。要望として最も意見が多かった内容として、タクシーやシャトルバスの運行本数の増便や時間の延長が挙げられて、過去2回の調査と同様である。

教育環境およびカリキュラムに対する要望について(Q17～Q34)

学年初めのガイダンスの要望、シラバスの要望について、「要望なし」との回答がそれぞれ 93.1%、86.5%となっている。

パソコン設備の要望については、前回調査と同様に 7 割が「要望なし」となっている。

リテラシー科目の要望、全学科目の要望については、「要望なし」の割合がそれぞれ 90.0%、91.5%と高くなっているが、前回調査(H28 年度)と比較すると、要望「ない」の割合が 2 割程上昇している。

UNIPA の閲覧頻度については新規調査となるが、利用頻度では「1 週間に 1 回くらい」が 3 割と最も高い。

初年次セミナーの満足度については、今年度新設した設問となる。「どちらとも言えない」(57.7%)の割合が最も高く、27.7%が満足と回答している。要望についてみると、1 グループの人数が多いことによるグループ学習の難しさを挙げている。

健康・運動科目については、要望「ない」の割合が 95.8%と過去2回の調査よりも高い割合となっている。

専攻カリキュラムの満足度については、本調査で新設された設問である。「満足」と「やや満足」を合わせた割合は 68.0%の学生で満足と感じている。満足度別と要望についてみると、満足と感じている学生で「ない」の割合が9割を越えている。

教職課程科目の要望をみると、1 割の学生で「ある」と回答し、教職科目と他授業との授業の重なり等、多岐にわたるコメントが挙げられている。

博物館学課程の要望をみると、開講時間に関する意見が見受けられる。

昼食について(Q35～Q37)

昼食手段について、「学外での弁当・パン購入」(70.1%)、「自宅からの弁当持参」(44.7%)で高い割合となっている。昼食手段別の要望では、学生食堂利用の学生で「ある」(51.0%)の割合が他の手段よりも高くなっている。学内の食堂に対しては、全体で17.8%が「あり」と回答しており、令和元年度と同様にメニューが少ない、崎山キャンパスでも利用したい、営業時間の延長、提供体制などの意見が多く見受けられる。

事務職員対応について(Q38～Q39)

事務職員対応の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は 61.2%と令和元年度(63.4%)と同様に6割を超えている。また満足度別の要望でも、令和元年度と同様に「やや不満」や「不満」の回答で要望「ある」の割合が高く、具体的な意見としては、学生に対する職員の態度や言動、担当者の引継ぎ、窓口受付時間、崎山キャンパスでの事務業務などが挙げられ、改善はみられない。

進路・就職支援について(Q40～43)

卒業後の進路希望について、「未定」(26.0%)の割合が高く令和元年度、平成28年度とほぼ同様であった。進路希望別の教員の説明や指導体制についてみると、「進学」希望者では「役に立った」(45.6%)で割合が高いが、「進学」、「自営やフリーの芸術活動」、「民間企業」希望者でわずかではあるが、「役に立たなかった」の回答があり、自由記述からは就職活動に対するサポート体制の不足を指摘する意見が挙げられている。

学生生活満足度について(Q45)

現在の学生生活満足度については、「満足」(25.3%)と「やや満足」(52.3%)を合わせた割合は77.6%と、令和元年度(65.0%)よりも増加している。満足度別の要望の有無については、「やや不満」で要望「ない」の割合が26.3%と高くなっている。

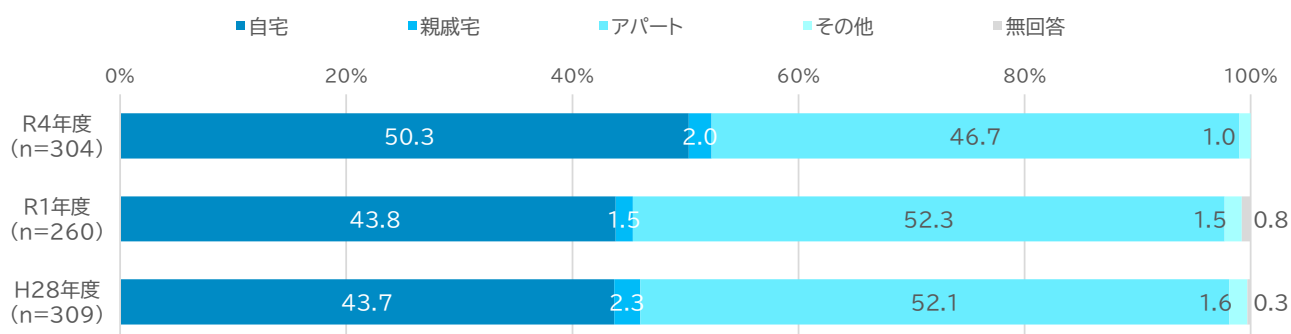
第3章 調査結果

(1) 学校生活の状況について

Q1 住まいの状況(あなたの現在の住まいについて教えてください。)

住まいの状況について、「自宅」の回答が50.3%と最も高く、「アパート」が46.7%と続く。

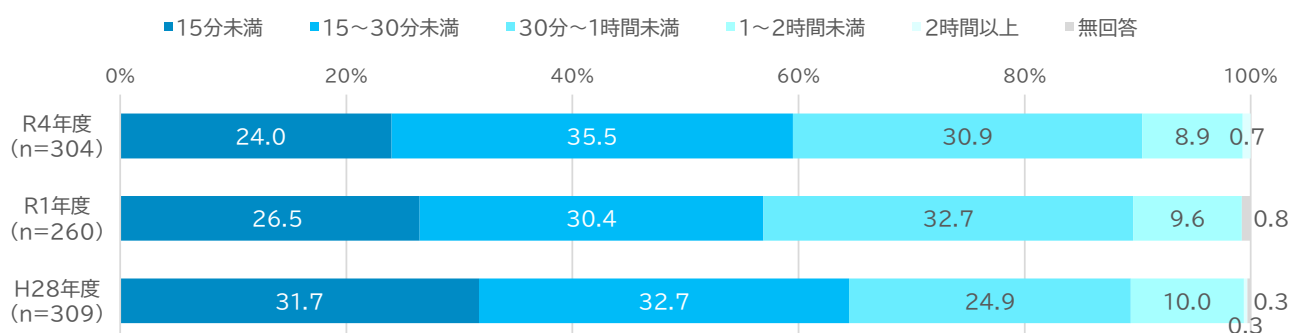
過去2回の調査と比較すると、「アパート」が5割、「自宅」が4割に対して、「自宅」が5割、「アパート」が4割と自宅からの割合が高まっている。



Q2 通学時間(あなたの住まいから大学(専攻があるキャンパス)までの通学時間はどれくらいですか。)

通学時間について、令和4年度では、「15～30分未満」(35.5%)が最も高く、「30～1時間未満」(30.9%)、「15分未満」(24.0%)、「1時間～2時間未満」(8.9%)、「2時間以上」(0.7%)となっている。

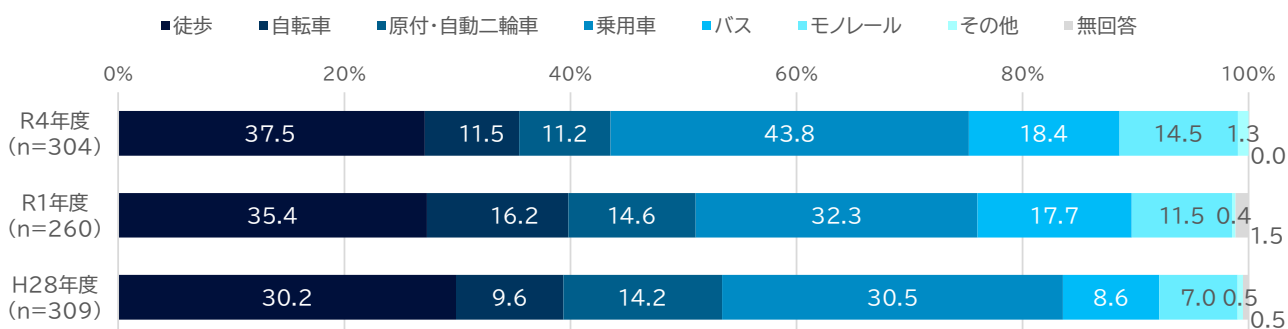
時系列にみると、令和4年度「15分未満」(24.0%)は、令和元年度(26.5%)、平成28年度(31.7%)と、減少傾向となっている。



Q3 通学手段(主たる通学手段は何ですか。(複数回答可))

通学手段について、令和4年度では、「乗用車」(43.8%)と最も高く、「徒歩」(37.5%)、「バス」(18.4%)、「モノレール」(14.5%)と続く。

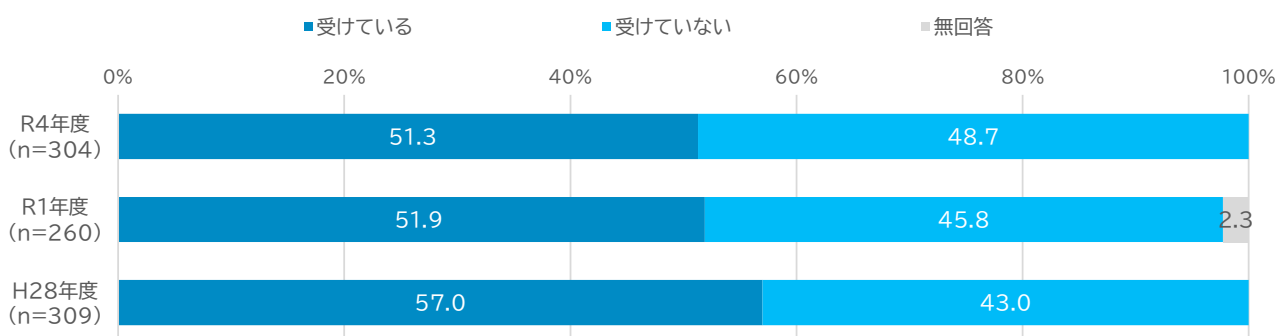
過去2回の調査と比較すると、「乗用車」の割合が、令和元年度(32.3%)から令和4年度(43.8%)では、11.5ポイント増加している。



Q4 奨学金の受給状況(現在、何らかの奨学金を受けていますか。)

奨学金の受給状況について、5割以上で奨学金を受給している。

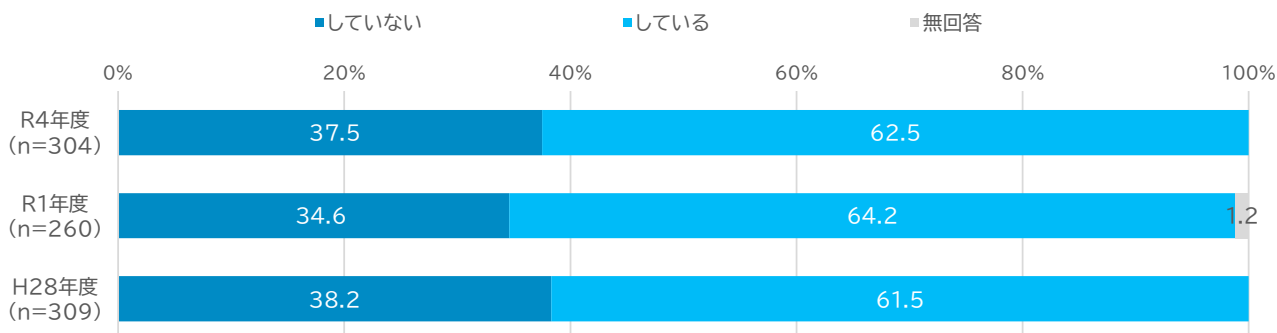
時系列にみると、「奨学金を受けていない」割合が、令和元年度(45.8%)から令和4年度(48.7%)の割合が2.9ポイント増加している。



Q5 アルバイトの状況(現在、アルバイトをしていますか。)

アルバイト状況について、アルバイトを「している」が62.5%、「していない」が37.5%になっている。

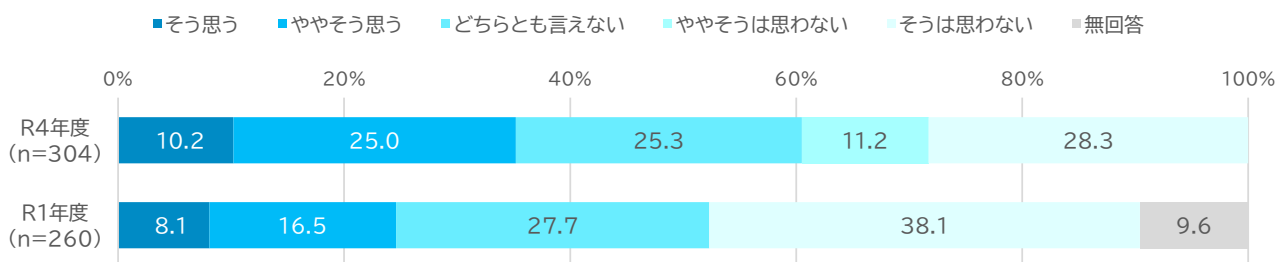
過去2回の調査と比較すると、「していない」(37.5%)の割合が令和元年(34.6%)で減少したが、平成28年度(38.2%)に近づき増加した。



Q6 アルバイトによる授業・課題への影響(アルバイトが原因で、授業への出席や予習・復習、課題対応への時間確保が難しいと思いますか。)

アルバイトによる授業・課題への影響について、「そうは思わない」(28.3%)で最も高く、「どちらとも言えない」(25.3%)、「ややそう思う」(25.0%)と続く。

「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は35.2%で、3割以上の学生がアルバイトによる授業・課題への時間確保が難しいと感じている。



(2)大学についてのイメージ

Q7 入学前と比べた、現在の大学のイメージ(入学前の沖縄県立芸術大学のイメージにくらべ、現実の事情はいかがですか。)

<自由記述>

イメージよりも学校生活が充実していると思います。(19 件)
イメージとは違い少しギャップを感じる。(16 件)
とてもいい環境で、設備が充実している。(12 件)
他専攻や他学科の学生間の交流は少ないと感じた。(12 件)
事務局との連携が取りづらい,教務学生課の対応が悪い。(12 件)
想像より充実していて、とても楽しいと感じている。(11 件)
思ったよりも 1 日の時間に余裕が無い。(10 件)
思っていた以上に伸び伸びとしていて自由で制作がしやすいです。(10 件)
教授方が親身に話をきいてくれて、質問しやすい雰囲気がある。(8 件)
もっと設備が充実していると思っていた。(7 件)
制作場所が自由に使える。(6 件)
もっと綿密に専攻分野について学ぶことができると思っていた。(5 件)
アトリエの使える時間が短過ぎる,自主制作の時間がなかなかとれない。(5 件)
とても学びやすい場所で過ごしやすい。(4 件)
衛生的にあまり良くない部分があり、使うのが怖い(3 件)
限られた時間の実習の中で様々なことが学べて良いと感じる。(3 件)
かなり放任主義、情報共有が遅い。(3 件)
専門科目の授業が充実しているように感じます。(3 件)
イメージしていたより忙しく、午前の授業が大変。(2 件)
個展やイベントが多くて良いと思った。(2 件)
少人数であるため生徒同士の距離が近く、コミュニケーションが取りやすいように思う。(2 件)
雨の日の遅刻が多い,キャンパス間が遠いと思う。(2 件)
想像通りだが、親の年収に依存した大学独自の授業料減免しかないのは少し残念に思っている。
作品販売や展示会情報が充実していると思う。
購買がないのが不満だ。
オンラインが厳しい。
肯定的な意味で、一般教養の講義の割合が多い。
専攻分野だけでなく、幅広い国や地域の音楽への理解が求められていると感じる。
対面授業が増えたので、学生間の関わりも増えたように感じる。

Q8 Q7について、そのように感じる場面(Q7について、そのように感じるのは、主としてどのような面でしょうか。(自由記述))

<プラスイメージ>

先生たちが良い人ばかり。(19 件)
環境が整っていて、カリキュラムが充実している。(10 件)
学生の雰囲気が良い、周りの友達もとても明るくて元気をもらっている。(9 件)
自分のペースで制作できる。(8 件)
実技の授業が充実している。(5 件)
少人数のクラスで十分に指導を受けられていると感じるから。(3 件)
中庭のベンチが増え、一般教育トイレが新しくなった。(2 件)
沖縄らしくて良い。(2 件)
授業内容や課題等の研究課程が深くなった。(2 件)
学生支援、サポートが充実していると感じる。(2 件)
先生の課題や授業の進行など複数の課題が切迫しないよう配慮されている。(2 件)
イベントのチラシやポスターが多くある。
実際に作家として活躍されている方々に直接教わる機会があった。
コロナが落ち着いたので、対面で授業が受けたい。

<マイナスイメージ>

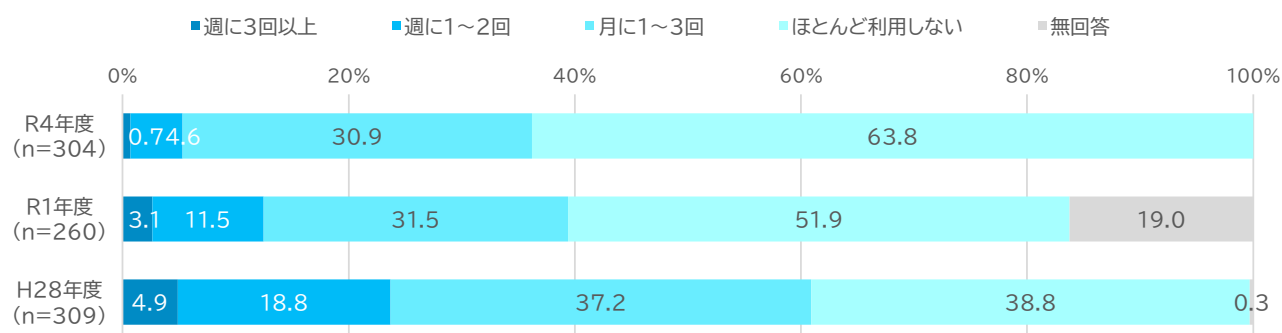
教職の課題やレポートが多く、生活に支障がある。(11 件)
サークルがあまり活発ではなく、コロナ化で学生同士が集まる機会が少ない。(8 件)
事務局の対応があまり良くない。(6 件)
施設の老朽化が激しい。(4 件)
足りない道具や設備が多い。(4 件)
コロナの影響でオンライン授業が多い、イベントが少ない(4 件)
施設使用の許可をとる段階や範囲が不明瞭、かつ自己制作を誰に相談するべきなのかが分からない。(3 件)
メールが届くのが期限の直前で、あったり UNIPA の通知が来ない。(3 件)
授業や実習で必要なものがあつたときの為に購買がほしい。(2 件)
当蔵～崎山間の移動距離・時間がかかる。(2 件)
毎日授業が 17:30 までであること。(2 件)
課題や研究、履修について情報が不足している。(2 件)
崎山と当蔵キャンパス間で交流が薄い。

(3)大学の施設や教育体制、支援体制について

Q9 図書館の利用状況(図書館の利用状況について教えてください。)

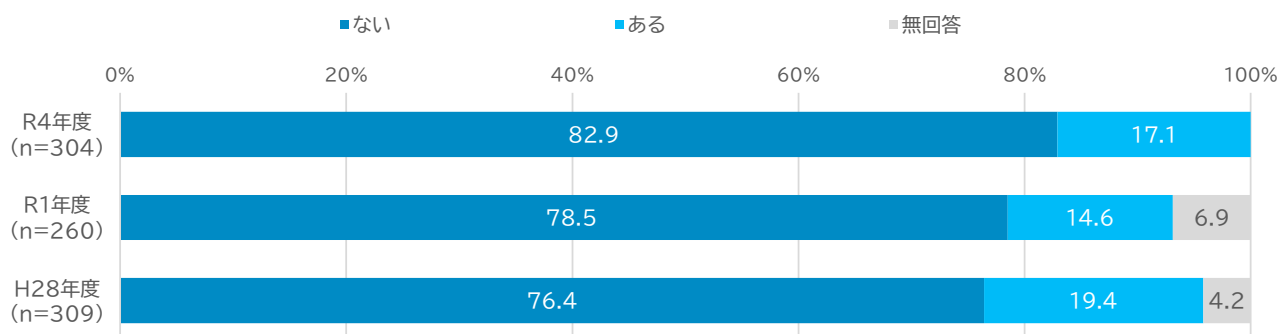
図書館の利用状況については、「ほとんど利用しない」(63.8%)の割合が最も高く、次いで「月に1～3回」(30.9%)、「週に1～2回以上」(4.6%)、「週に3回以上」(0.7%)となっている。

過去2回の調査と比較すると、「ほとんど利用しない」の割合は、平成28年度(38.8%)から、令和元年度(51.9%)、令和4年度(63.8%)と増加している。



Q10 図書館の要望(図書館の所蔵、設備、運用について、利用しやすくするために要望することはありますか。)

図書館の要望について、「ない」が82.9%で、「ある」が17.1%となっている。
過去2回の調査と比較すると、「ない」の割合が増加している。



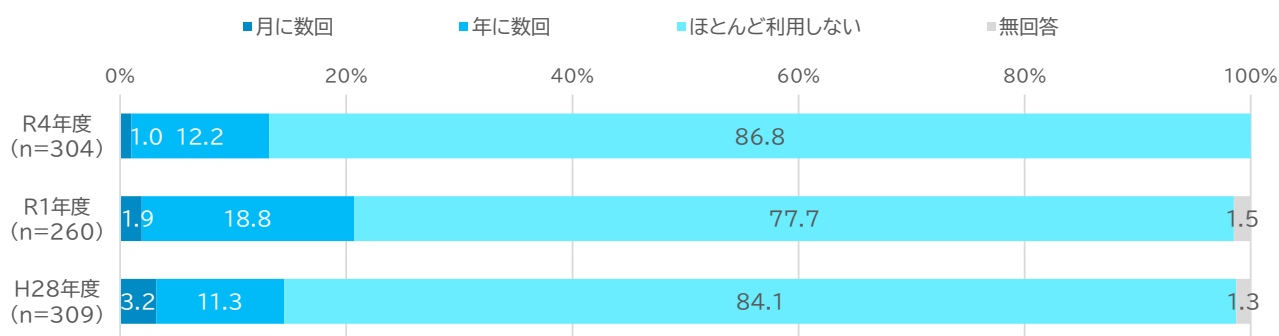
<自由記述>

蔵書をもっと増やしてもらいたい。(10 件)
時間で区切られることで図書館の利用しづらい、利用できる時間を増やしてほしい。(6 件)
感染症対策が厳しすぎて利用が億劫、換気時間の調整をしてほしい。(6 件)
崎山キャンパスにも図書館があると嬉しい、崎山から借りれるシステムがほしい。(6 件)
週末も開けてほしい、貸出期間を長くしてほしい。(3 件)
閉館時間をもっと遅めてほしい、自習室を気軽に利用したい。(2 件)
コピー機の隣に両替機をおいてほしい。そろそろ署名式と手袋着用をやめて自由に利用できるようにしてほしい。
図書館のサイトで図書を検索した時に蔵書の番号などを記載しておいて欲しい。
学部生でも、公開されている論文を1人で自由に閲覧できるようにしてほしい。
漫画も持出可能にしてほしい。
トイレの設備を良くしてほしい。明るくしてほしい。

Q11 保健室の利用状況(保健室で処置を受けたり、健康診断をしたことがありますか。)

保健室の利用状況について、「ほとんど利用しない」(86.8%)の割合が最も高く、「年に数回」(12.2%)、「月に数回」(1.0%)と続く。

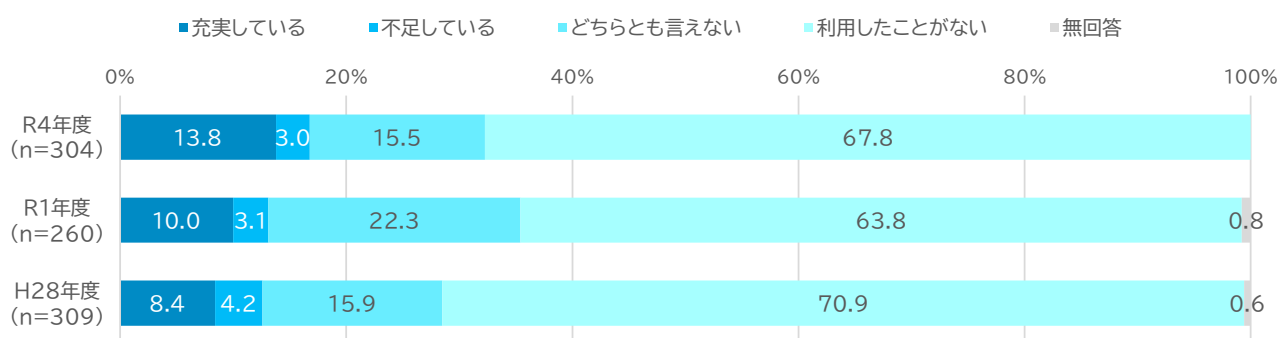
過去2回の調査と比較すると、令和元年度で「ほとんど利用しない」の割合が減少したが、令和4年度では平成28年度も上回り増加した。



Q12 健康管理やカウンセリング体制(保健管理やカウンセリングの体制についてどう思いますか。)

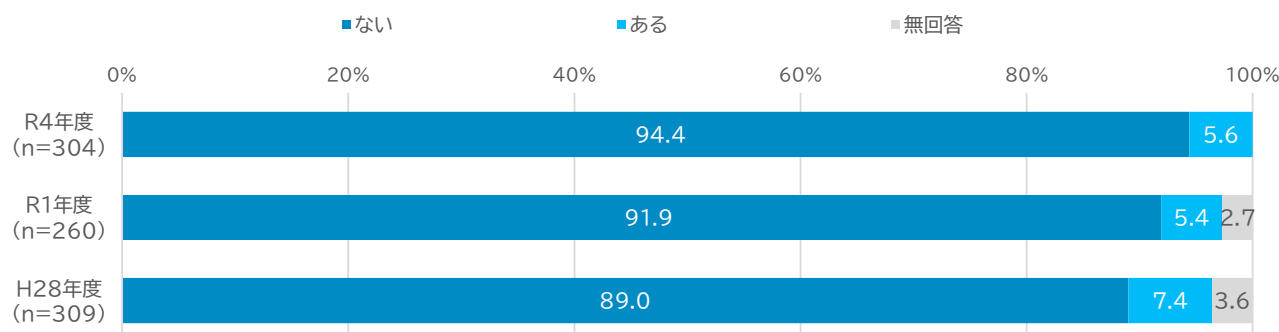
健康管理やカウンセリング体制について、「利用したことがない」(67.8%)の割合が最も高く、「どちらとも言えない」(15.5%)、「充実している」(13.8%)、「不足している」(3.0%)と続く。

過去2回の調査と比較すると、「充実している」の割合が年々増加している。



Q13 健康管理やカウンセリング設備の要望(保健室やカウンセリングの施設、運用について、利用しやすくするために要望することはありますか。)

保健室やカウンセリング設備の要望について、「ない」が94.4%、「ある」が5.6%となっている。
過去2回の調査と比較すると、過去2回と同様に「ない」の割合は高く、9割を超えている。



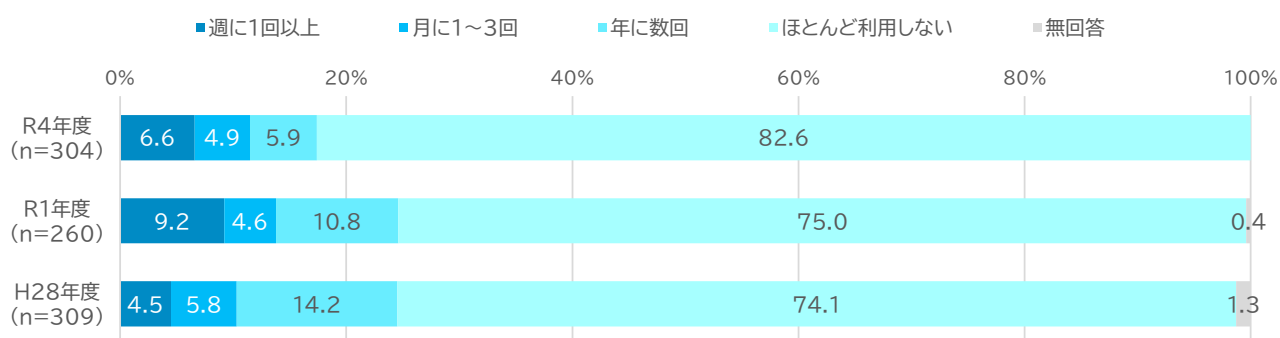
<自由記述>

必要な時に空いていないことが多いため、できれば毎日開けてほしい。(3件)
行くにも先生とメールのやりとりをしないといけないのが面倒。
当蔵・崎山にそれぞれ常駐してほしい。あと崎山キャンパスにもカウンセラーを置いて欲しい。
ユニパか何かで予約できるようにしてほしい。
電話予約の対応時間が決まってるのが使いにくい。また、電話予約なのも気軽に使いにくい。
カウンセリングの継続が難しい。予約をラフに、時間もゆとりがほしい。
困ったときにいつでも行けるように、よりオープンな状態にしてほしい。
保健室が週の半数しか作業場があるキャンパス保健室が開いていないのは、けがをしそうな作業も多いので不安を感じる。
カウンセリングや健康管理について。開催キャンパスや時間帯等で中々自分から行けないので、定期的に機会を設けてほしい。
出来れば毎日いるか、事務室とかで応急処置セット(あるならオリエンテーションの時とかに周知してほしい)か保健室に入れるようにしてほしい。

Q14 体育館の利用状況(体育館の利用状況(授業以外、個人やサークル等)について教えてください。)

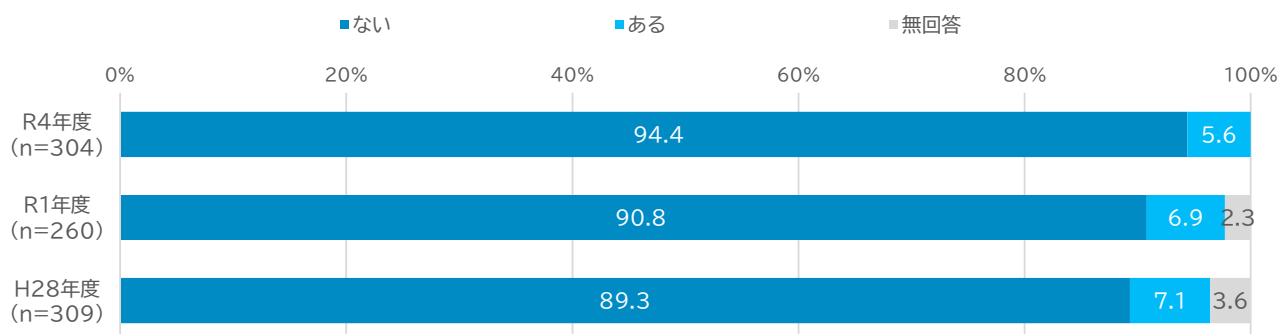
体育館の利用状況について、「ほとんど利用しない」(82.6%)の割合が最も高く、次いで「週に1回以上」(6.6%)、「年に数回」(5.9%)、「月に1～3回」(4.9%)となっている。

過去2回の調査と比較すると、「ほとんど利用しない」の割合は、令和4年度(82.6%)が最も高くなっている。「年に数回」の割合では令和元年度よりも4.9ポイント減少している。



Q15 体育館の要望(体育館の設備、用具、運用について、利用しやすくするために要望することあります か。)

体育館利用の要望については、「ない」は 94.4%、「ある」は 5.6%となっている。
過去2回の調査と比較すると、「ない」の割合は令和4年度(94.4%)が最も高くなっている。



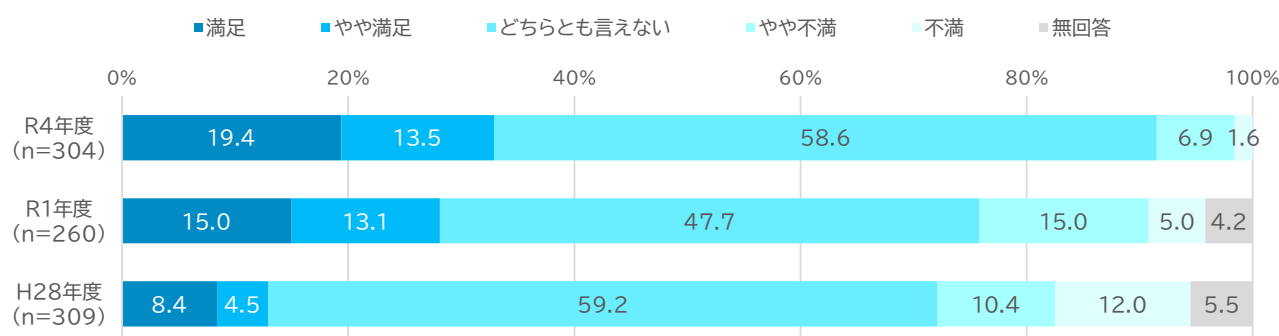
<自由記述>

使用届の形式がわかりやすく、簡単であればもっと利用したいと思う。(5 件)
まず体育館を使用していいとか知らなかったなので、使用方法の流れや申し込み方法などを周知してほしい。(2 件)
お手洗いと更衣室、シャワー室を改装してほしい。
玄関近くの冷水機があまりでないので、修理してほしいです。
空気入れが欲しい、冷水機の数を増やして欲しい、体育館内に自動販売機が欲しい。
体育館にも wifi がほしい。
自由に使えるボールがボロボロすぎる。
体育館貸出のフォームがあったりしたら手軽に利用したい。

Q16 シャトルバスのダイヤやタクシー利用の満足度(キャンパス間運行シャトルバスのダイヤやタクシー利用についてどう思いますか。)

シャトルバスの利用満足度について、「どちらとも言えない」(58.6%)の割合が最も高く、次いで「満足」(19.4%)、「やや満足」(13.5%)、「やや不満」(6.9%)、「不満」(1.6%)となっている。

過去2回の調査と比較すると、「満足」(19.4%)の割合が、年々増加し最も高くなっている。また、「不満」(1.6%)の割合については、年々減少し最も低くなっている。

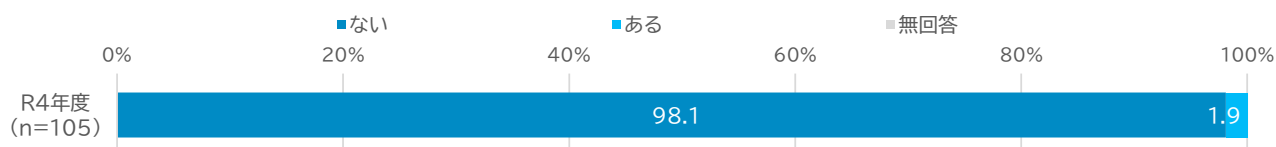


<自由記述>

自分の乗りたい時間とあわない。(19 件)
他人と乗り合わせるのが好きではない。(5 件)
シャトルバスの運行数を増やしてほしい。(3 件)
そもそもダイヤが少ない、行った先のキャンパスから帰るバスがない。
崎山から当蔵までをタクシーではなくバスにしてほしい(タクシーだと時間が読めないため)。
朝一番で崎山キャンパスに行きたい人は歩くのが大変。授業後に崎山で作業をして帰ろうとすると駅まで 30 分ほどかけて歩くことになるので遅い時間にも運行してほしい。
学食で食べるとバスの時間に間に合わず、時間の設定がおかしいと思う。
崎山、首里駅に行くタクシーが欲しい。
タクシーの時間が 18 時 10 分までという事で、17 時半に授業が終わっても片付けがあったりする生徒はタクシーの時間に間に合わない。当蔵キャンパスまでの道は街頭がない場所もあるので、女子生徒が 1 人で歩いて帰るのは不安だと思う。
タクシーだと予定が組みにくいので、行きも帰りもバスにして欲しい。

Q17 全体オリエンテーションの要望(新入生対象 全体オリエンテーションについて、要望することありますか。) ※今年度新規追加項目

全体オリエンテーションについて、要望については、「ない」が98.1%、「ある」が1.9%の割合になっている。

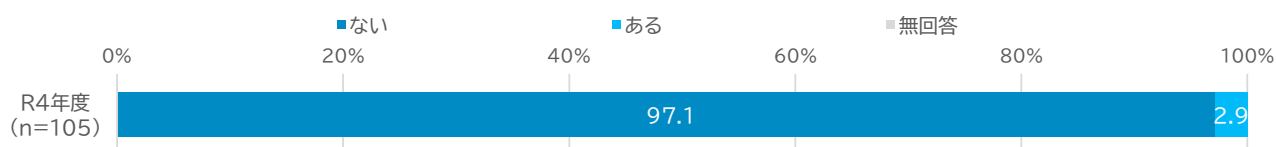


<自由記述>

我々令和 2 年度入学生はオリエンテーションも何もなかったため非常に困惑した。いまだにわかっていないことがチラホラ出てくるので最初のきちんとした説明がとても重要。
リモートで行われたのでよくわからなかった。
よく分からないがイベントはいい試みだと思う。一年前期の初年時セミナーがマジで行く気にならず最初の 2 回以降一回も行っていないのであれどうにかすべきだと思う。あと 1 限の時間が早い。
出来れば対面で後輩とあってみたい。
無くてもよいと感じる。
もっと丁寧に細かく教えてほしい。

Q18 全学・資格過程オリエンテーションについての要望(新入生対象 全学・資格課程オリエンテーションについて、要望することありますか。) ※今年度新規追加項目

全学・資格過程オリエンテーションについての要望については、「ない」が 97.1%、「ある」が 2.9%の割合になっている。



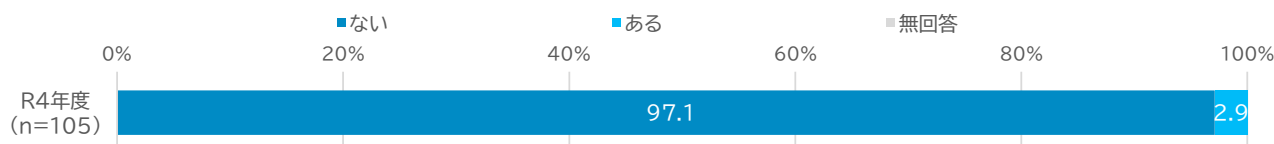
<自由記述>

オリエンテーションで配られる資料の中に、教職課程も博物課程も詳しく取らなければならない科目等が書いてある資料を同封してほしい。
教職課程の説明など難しいことが多くて、2 年次になると忘れていることもあったり、2 年次になってから教職課程を目指す生徒もいるので、新入生以外にもオリエンテーションをして欲しい。
後期にもどれが教育の課程に入るのかの説明があると嬉しい。
取らなければいけない科目をもう少し分かり易くリストアップして欲しい。
もっと丁寧に細かく教えてほしい。
学芸員の資格のための授業が卒業単位に含まれていないことを事前により詳しく伝えてほしかった。

Q19 全学履修相談についての要望(新入生対象 前学履修相談について、要望することありますか。)

※今年度新規追加項目

全学履修相談についての要望については、「ない」が97.1%、「ある」が2.9%の割合になっている。



<自由記述>

全学教育センター教科の履修方法は説明や案内の冊子で分かったが、美術工芸学部の実技科目の履修方法が正直どこにも冊子に書いておらず、私含め他の学生たちも全員わからない状態だった。何人かの先生に聞いてようやくわかってなんとか履修したが、これは学部ごとにも違いがあると思うので、しっかりオリエンテーションなどを開いて説明してほしいと思う。また、専攻ごとに設定されている選択科目は、何曜日何校時にやるのか冊子ではわからず、UNIPA のシラバスの検索でしかわからなかったの、そこも冊子の方に記載しておいて欲しい。

何を誰に相談すればいいのかもいまだに分からないので土壌を整えることは大切だと思う。

あることを知らなかった。

履修指導を単位の取得漏れが無いように担当の先生とゆっくり確認できる時間を設けてほしい。

もう少し気軽に相談できるようにしてほしい。

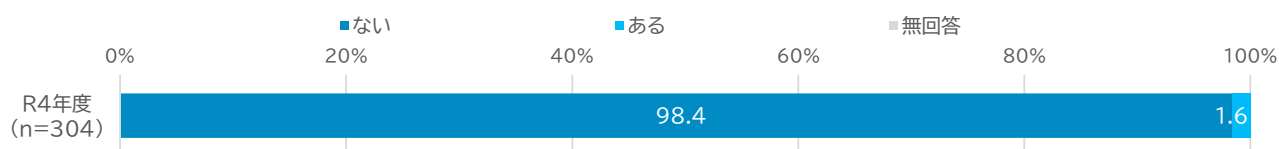
1 年次のときに履修相談に行ったが、「好きな取ればいいんだよ～」というような具体的ではない適当な対応をされて結局なにを履修すれば良いのか分からず困った。新入生は履修登録が初めてで不安だと思うので、その生徒にあった(教職課程か博物館なのかなど)具体的でしっかりとした返答をしてあげて欲しい。

履修登録の時期に相談できる体制を整えてほしい。後期にうまく履修登録ができなかった。

履修登録の仕方がもっと詳しく説明がほしい。特に登録の時間。

**Q20 各専攻別オリエンテーションの要望(各専攻別オリエンテーションについて、要望することあります
か。)** ※今年度新規追加項目

各専攻別オリエンテーションの要望については、「ない」が 98.4%、「ある」が 1.6%の割合になっている。

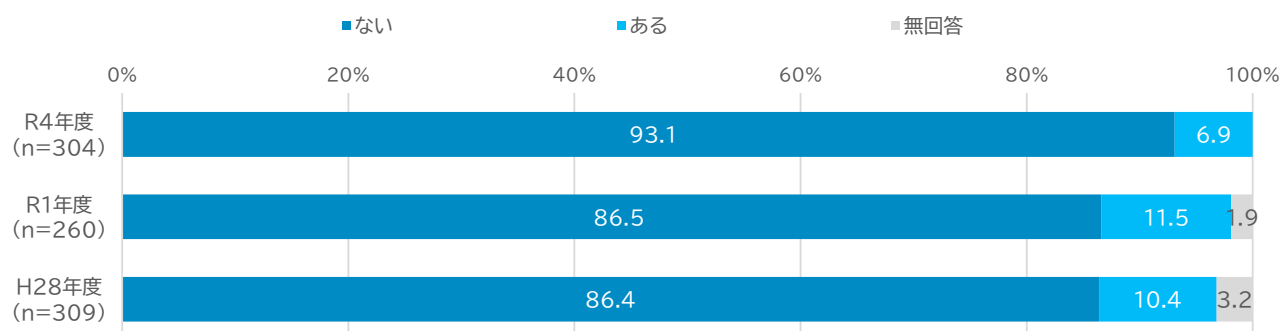


<自由記述>

履修指導についてだが、学生一人一人にきちんと向き合ってほしい。単位を落とし卒業が危うい学生が多く、手がかかるのはわかるが、時間割と成績をチラ見し「大丈夫だね」のひとことで済ませられるのは悲しい。
後輩たちと絡みたい。
オリエンテーションの要約がよく分からないが、他大学の同専攻の教授が特別授業でたくさんきてくれると死ぬほど嬉しい。色んな人と美術について話したいし聞きたい。
副論文提出に黒表紙があることを知らされていなかった。
年度末に次年度初めの授業内容を概要のみで良いので教えてほしい。

Q21 シラバスの要望(シラバスについて、要望することはありますか。)※今年度新規追加項目

シラバスの要望については、「ない」が93.1%で「ある」が6.9%の割合になっている。
過去2回の調査と比較すると、「ない」(93.1%)の割合が年々増加し9割を超えている。



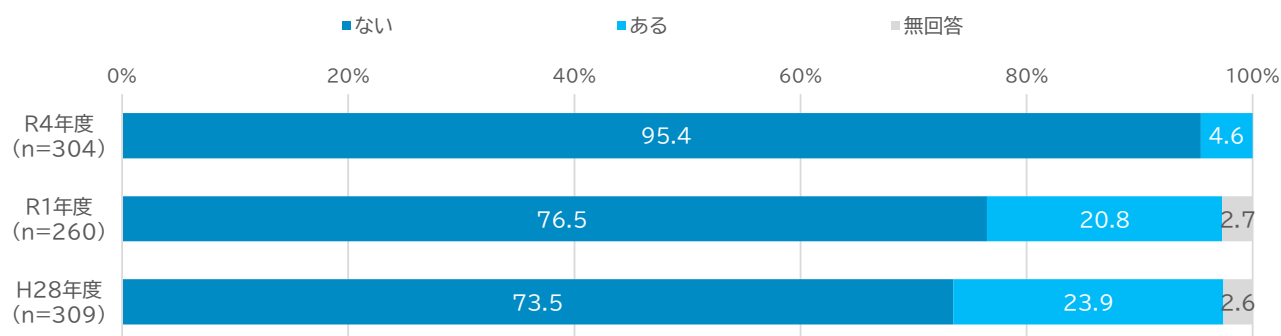
<自由記述>

紙のシラバスもほしい。履修計画を立てるために、前期・後期、通してシラバスが読めたほうがいい。(5 件)
オンデマンド授業と書いてあるのにオンデマンドじゃないことがあるので直してほしい。(2 件)
UNIPA でのシラバスの検索の仕方が非常にやりにくく、まともに見られたことがないです。(2 件)
専攻の必修等を詳細に記しておいて欲しい。
必修科目を選択する時に油画と日本画で分けられるようにしてほしいです。
対面授業なのか遠隔授業なのかを明白に記載してほしい。対面授業の場合も、先生からの連絡が欲しい。きちんと内容を更新して欲しい。
集中講義の詳しい実施日を登録期間に UNIPA にも掲載してほしい。
取りたい科目が月曜日から水曜日くらいに集中していて木曜日や金曜日にばらけていたら良いのになと感じる。
休日に行われる科目も表示してほしい。休日行われる科目の時間も表示してほしい。
履修登録期間に入るギリギリに内容を記載しないでほしい。もう少し早く載せてほしい。
カウの場合に履修を決断しかねる場合があり登録をお願いしたい。
成績評価の基準が書かれてないものがある。
自由科目の授業が行われる曜日と時間を記載してほしい。
UNIPA を全く見ないのは自分の責任もあるが、教務学生課の「UNIPA を見てないお前が悪い」の姿勢もおかしいと思う。公式 LINE とか作れよと思う。
ホームページに乗っている PDF には前後期どちらに履修できるかと、必要単位の内訳が記載されていないため、出来れば記載して欲しい。

Q22 パソコン設備の要望(学内のパソコン設備について、要望することはありますか。)

パソコン設備の要望について、「ない」が95.4%、「ある」が4.6%となっている。

過去2回の調査と比較すると、「ない」(95.4%)の割合が年々増加し、令和元年度(76.5%)より 18.9ポイントの増加となっている。



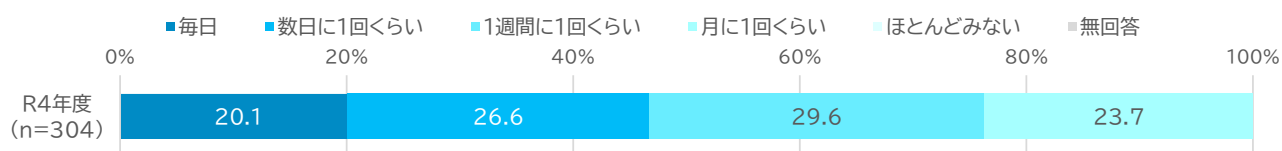
<自由記述>

コンピューター室で印刷ができるようにしてほしい。(3件)
使用予約はどこで取れば良いのかわからない。予約フォームがあればいいと思う。
博士研究室のPC設備を充実させてほしい。
崎山キャンパスにも(できれば各専攻ごとに)パソコン室が欲しい。Adobe や Microsoft が備わっているパソコンを自由に好きなタイミングで使いやすくなると嬉しい。
全て MAC は利用しにくい、USB が差せないので困る。
なぜ、MAC に変えたんですか？新しい Windows じゃダメなの？デザイン系の人なら Mac を使うがコンピューター室で作業しないと思う。
使った事がない。自分の他に不便に感じてる人がいるならそこは治すべきだと思う。
院生室のパソコンを新しくしてほしい。
貸し出しの USBC 変換ケーブルが欲しい。
新しくしてほしい(定期的に)。
Rhinoceros, Keyshot などを利用したい。

Q23 UNIPAの閲覧頻度(UNIPA(UNIVERSAL PASSPORT)の閲覧頻度を教えてください。)

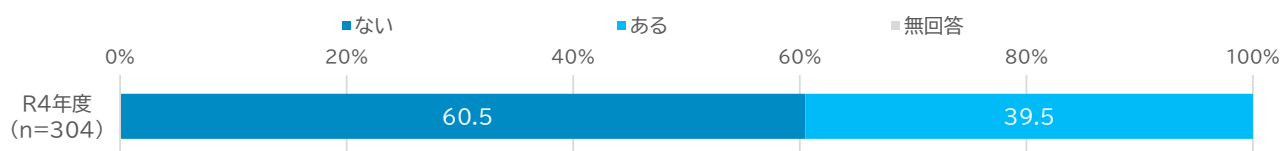
※今年度新規追加項目

UNIPA の閲覧頻度については、「1週間に1回くらい」(29.6%)の割合が最も高く、次いで「数日に1回くらい」(26.6%)、「ほとんどみない」(23.7%)、「毎日」(20.1%)となっている。



Q24 UNIPAの運用についての要望(UNIPA(UNIVERSAL PASSPORT)の運用について、要望することありますか。)※今年度新規追加項目

UNIPA の運用についての要望については、「ない」が60.5%で「ある」が39.5%の割合になっている。

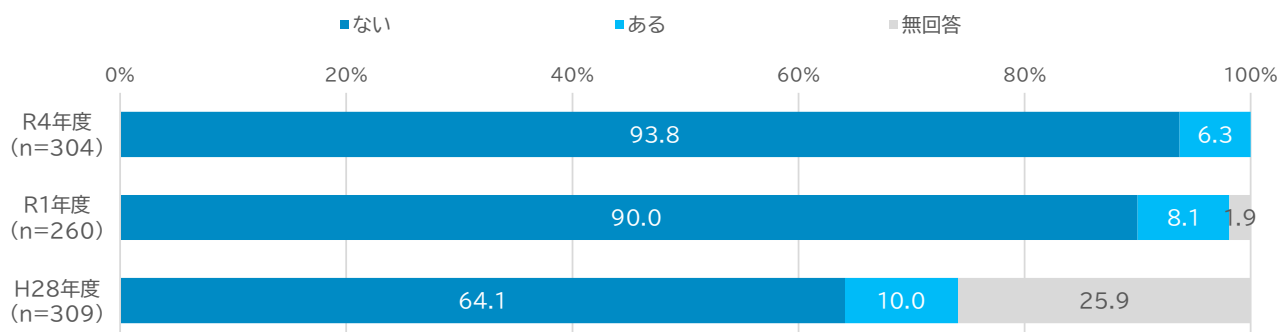


<自由記述>

通知が来るようにしてほしい。(18 件)
展覧会と学校連絡の掲示板を分けてほしい。(17 件)
画面が見づらく操作がしにくいのと、不具合が多いことが難点。(16 件)
重要なことなどは特に Gmail やメールにも情報を送って欲しい。(15 件)
大事な連絡ほど、UNIPA に載っていないことが多々ある。もっと活用して欲しい。(11 件)
アプリ化をして欲しい。(9 件)
パスワードの入力の要求が多い。(5 件)
ページを開くたびにログインし直さなければいけないのを改善してほしい。(5 件)
課題を書いているのに「長時間使用されなかった」と言い、データを削除して初期ページに戻さないでほしい。(4 件)
パソコンだと利用しやすいが、スマートフォンだと利用しにくいので、スマートフォンでも利用しやすいような設定にしてほしい。(4 件)
UNIPA を用いる授業とそうでないものがあるので統一してほしい。(2 件)
掲示内容の削除が早く感じる。
重要な内容の連絡が遅い時がある。
後期集中講義や履修登録などの情報をしっかり載せてほしい。また、学生の奨学金の欄があるにもかかわらず、奨学金の欄ではなく学生全体の欄にあるため分かりづらい。また、単位の確認がしづらく、どの単位を取ったのか自分で計算しにくい。
出席状況を更新しない先生が多いので少し困ります。
視覚障害者にも対応できるようにしてほしい。
スマホでログインしようとしたら大体の確率でエラーが発生する。

Q25 リテラシー科目の要望(リテラシー科目(日本語、情報、外国語)について、要望することはありますか。)

リテラシー科目の要望について、「ない」の割合が93.8%、「ある」の割合が6.3%となっている。
過去2回の調査と比較すると、「ない」(93.8%)の割合が年々増加し、9割を超えている。

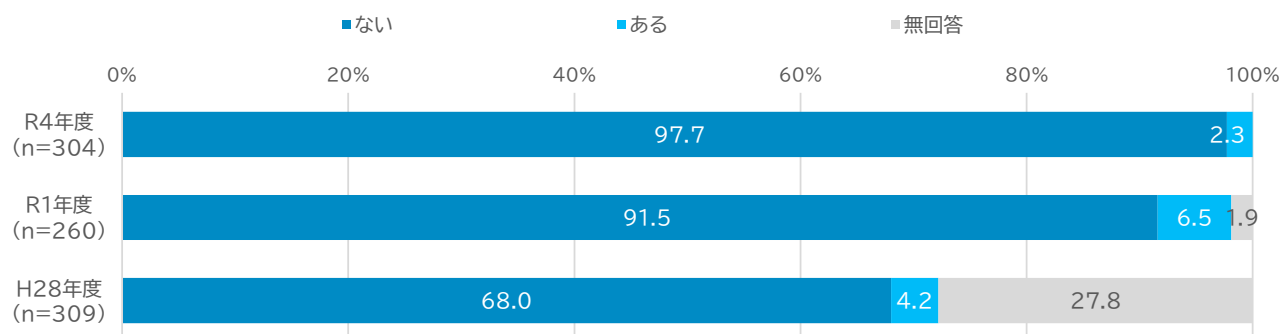


<自由記述>

外国語について韓国語もやりたいと思った。(5 件)
まだまだコロナが怖いので、オンラインでの授業を希望する。(2 件)
英語は週一にしてほしかった。
必修の英語について、クラスのレベルが合わないと感じたときに他のクラスに移れるよう調整期間があるといいと思う。
必修の英語がクラスによって対応が違う。
必修である外国語を教職課程や博物館課程の授業にぶつけるのをやめて欲しい。3 年になるまで第二外国語がとれなかった。
外国語の言語で課題などを伝えられて理解できず、そのまま課題があることを知らなかったので、メールで外国語もしくは日本語の説明を付け加えてくれると嬉しい。
崎山キャンパスとの往復が大変なので全てオンライン授業にしてほしい。
成績表を紙媒体だったときの表記にしてほしい。シラバスもっと見やすくしてほしい。
情報は全て遠隔授業でいいのではないかな。
英語が強制なのがいや。
1 限は早すぎる。
教職課程の授業などと時間帯が被るのが困る。
個人レッスンをしてもらいたい(お金は払う)ので、語学の先生方で個人レッスンを受け入れてくれる方をリストなどにあげて(1 時間あたりいくらなど)、連絡がしやすいようにしてほしい。

Q26 全学教育科目の要望(全学教育科目(一般教養、芸術教養科目、沖縄の文化に関する科目)について、要望することはありませんか。)

全学教育科目について、「ない」が97.7%、「ある」が2.3%の割合になっている。
過去2回の調査と比較すると、「ない」の割合が年々増加しており、9割強となっている。

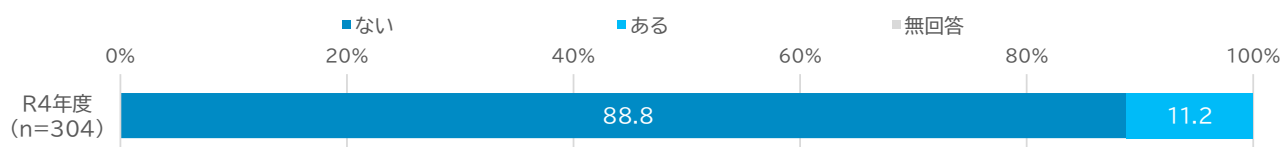


<自由記述>

まだまだコロナが怖いので、オンラインでの授業を希望する。
「琉球語基礎」「琉球語Ⅰ」は、内容が重複している。
早く全教科対面になってほしい。
合理的配慮の幅を広げてほしい。
オンラインとはいえ本のコピー資料だけを送って来られるのは結構おもんない。読んで感想送ってそれで終わりは楽でいいけどもっと授業自体おもしろくなればいいと思う。
時節柄オンデマンド型の講義も多いが、15回中1回だけでも、講師の顔と声を聞く機会がほしい(第1回だけteamsで会議を立ち上げる等)。声も顔も分からない人へ課題を送信するのは心理的な負担が大きい。

**Q27 オンライン・オンデマンド授業についての要望(オンライン・オンデマンド授業について、要望すること
ありますか。) ※今年度新規追加項目**

オンライン・オンデマンド授業についての要望については、「ない」が 88.8%、「ある」が 11.2%の割合になっている。



<自由記述>

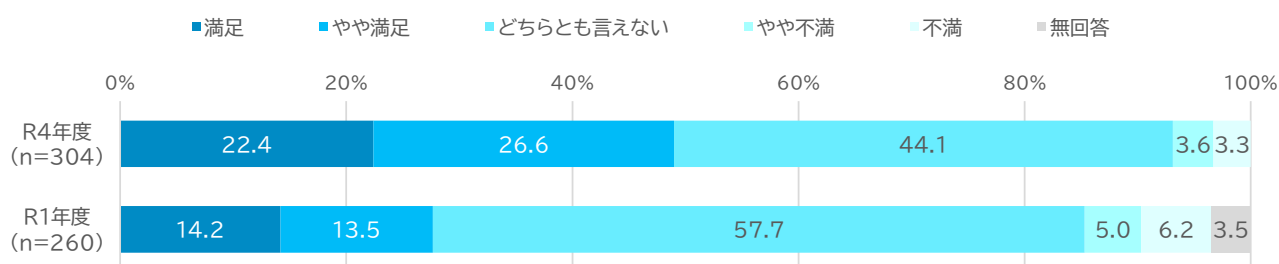
使用するアプリを絞ってほしい。(7 件)
オンライン・オンデマンドを増やしてほしい。(4 件)
対面が増えて欲しい。(3 件)
対面授業の時の時間よりもオンデマンド授業の時の方が課題に取り組む時間が長くなってしまっているの、そこを改善して欲しい。(2 件)
先生の好みでオンラインか対面か、授業スタイルが変わるのはどうかと思う。学生は振り回される。(2 件)
オンデマンド授業に切り替わるなどの影響でシラバスと授業内容が異なる場合は、履修登録前に知らせてほしい。(2 件)
オンライン授業であれば、インターネット環境の問題上、後々確認できるように授業録画を残しておいてほしい。(2 件)
得意な先生とそうでない先生がいるので、そうでない先生の授業は効率的でないため時間を無駄に感じることもある。
午前中の授業はオンラインか対面どちらかに絞ってほしい。移動時間の確保が難しいため。
オンラインの授業で接続が上手くいかないことがあり、それを説明してもオンラインの授業中に疑われたりするのでそれを理解して欲しい。
どうしても眠たくなってしまう。
合理的配慮の幅を広げてほしい。
全てのオンライン授業ははっきり言っておもんないと思う。工夫の仕方を探っていくべき。
UNIPA の説明だけでは不足していて、十分に講義を受けることのできない科目がある。
オンデマンドでは、資料を読んで回答だけの授業はつまらないと思う。
オンラインの音声が非常に聴きにくい講義がある。(日本国憲法)もう少し安定した音声で授業をしてほしい。
時節柄オンデマンド型の講義も多いですが、15 回中 1 回だけでも、講師の顔と声を聞く機会がほしいです(第 1 回だけ teams で会議を立ち上げる等)。声も顔も分からない人へ課題を送信するのは心理的な負担が大きいです。

Q28 初年次セミナーの満足度(初年次セミナーについて、どう思いますか。)

初年次セミナーの満足度について、「どちらとも言えない」(44.1%)で最も高く、「やや満足」(26.6%)、「満足」(22.4%)、「やや不満」(3.6%)、「不満」(3.3%)と続く。

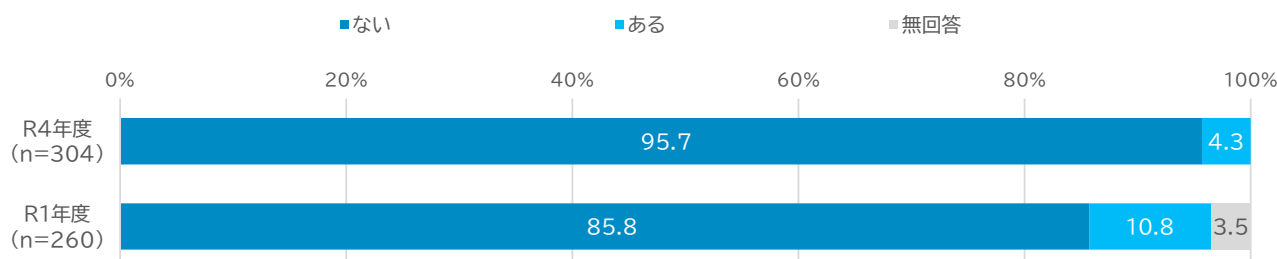
「満足」(22.4%)と「やや満足」(26.6%)を合わせた割合(49.0%)は、「やや不満」(3.6%)と「不満」(3.3%)を合わせた割合(6.9%)を 42.1 ポイント上回っている。

また令和元年度の調査と比較しても、「満足」(22.4%)と「やや満足」(26.6%)を合わせた割合(49.0%)は、21.3 ポイント増加している。



Q29 初年次セミナーの要望(初年次セミナーについて、要望することはありますか。)

初年次セミナーの要望について、「ない」が95.7%、「ある」が4.3%となっている。
令和元年度の調査と比較すると、「ない」の割合が9.9ポイント増加している。

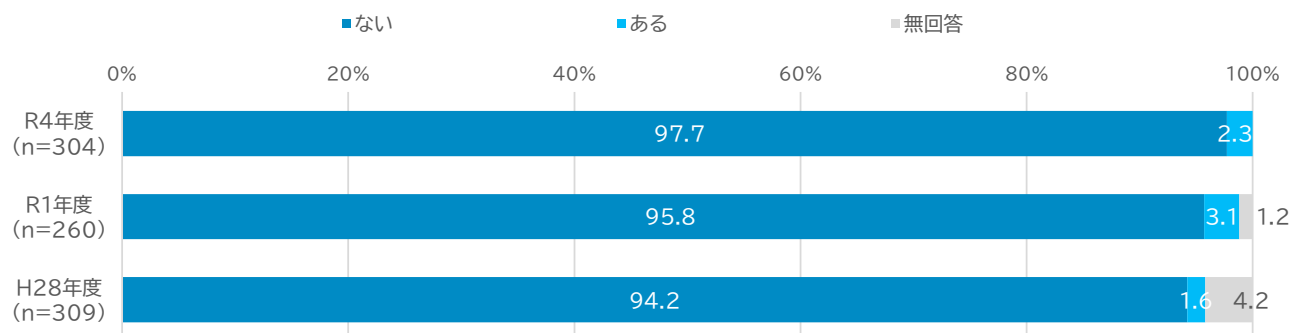


<自由記述>

この授業に意味があると思えない。
学校のこともだけど、成人する人に向けて少し準備することとか教えたらいいと思う。年金についてとか。
今はどうかわからないが、私たちの時は完全にオンラインでほとんどチャットのみで、レポートの書き方などについては学べましたが他専攻の子たちとの交流や大学についての知識(設備や立地など)を得ることなどができなかったのを改善して欲しい。大学内ツアーをやってほしかった。いまだに当蔵キャンパスで迷うことがある。
あまり意味があると感じられない。
もっと生徒同士の交流を増やして欲しい。朝一から話ばかりを聞き続けて正直眠かったし苦痛だった。
1 限目にあるということで受講しづらかった。
単位を 2 単位にして欲しい。
もうちょっと面白くなったらええな。
ほんまに行く気にならなかった。
回数増やしてほしい。
全部オンラインでいいと思った。
何のためにしているか分からない。

Q30 健康・運動科目の要望(健康・運動科目について、要望することはありますか。)

健康・運動科目の要望について、「ない」が97.7%、「ある」が2.3%となっている。
過去2回の調査と比較すると、「ない」の割合は増加し、今回(97.7%)の割合が最も高くなっている。



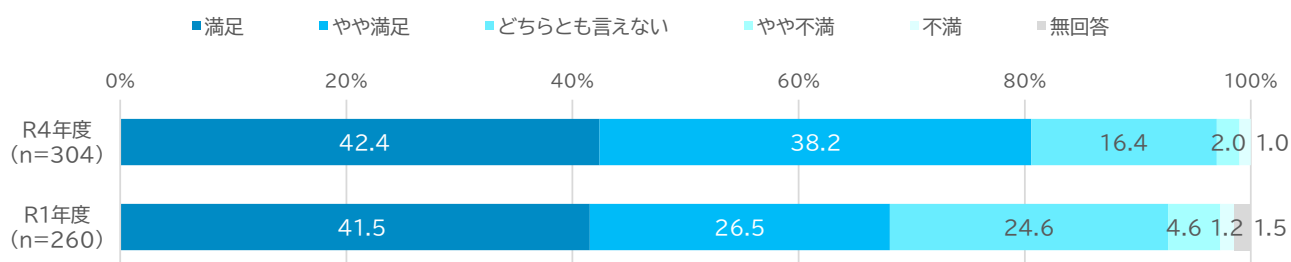
<自由記述>

教職必修なので抽選科目にしないでほしい。(2 件)
もっと実技があってもよかったなと思った。
外で散策したり野草とったりする講義は楽しかったのでこの先も続いて欲しい。
外国語科目も被って球技やサバイバルできないのが悔しい。
教員が全部同じ方なのが困る。他の方からも指導を受けてみたい。
大学院でも参加できる運動科目も設置して欲しい。

Q31 専攻カリキュラムの満足度(今年度自分が所属する学部(専攻)のカリキュラムや教育について、どう思いますか。)

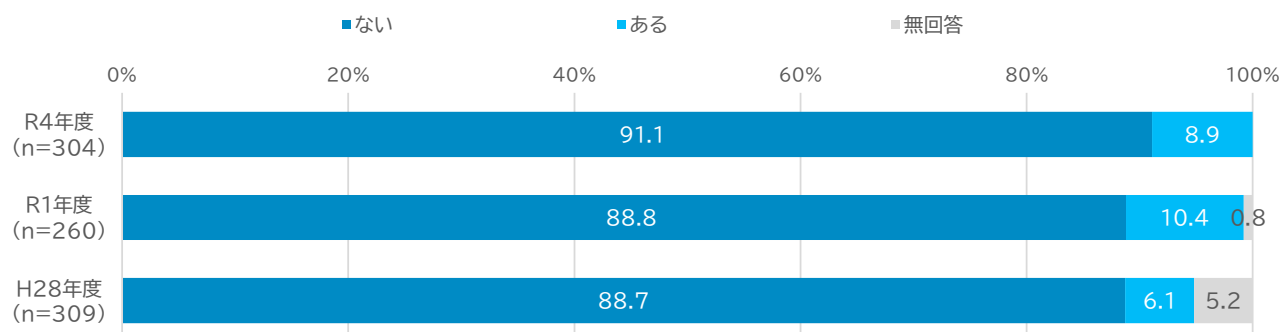
専攻カリキュラムの満足度について、「満足」(42.4%)が最も高く、「やや満足」(38.2%)、「どちらとも言えない」(16.4%)、「やや満足」(2.0%)、「不満」(1.0%)となっている。

令和元年度の調査と比較すると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は80.6%で、令和元年度の調査68.0%よりも12.6%増加した。



Q32 専攻カリキュラムの要望(今年度自分が所属する学部(専攻)のカリキュラムや教育について、要望することはありますか。)

専攻カリキュラムの要望について、「ない」が91.1%、「ある」が8.9%となっている。
過去2回の調査と比較すると、「ある」の割合がわずかに増加している。



<自由記述>

細かなスケジュールがもう少し早く知りたい。

詞章研究を低学年で行うだけでなく、技術が身に付いてくる高学年でも履修したい。総合実習で勉強する演目などを、低学年の時とは異なる視点から学びを深めたい。

1 日でも休んでしまうと絶対に終わらないようなぎりぎりのカリキュラムの組み方は非常に困る。こちらは月に2～3 日は確実に調子が悪くなり寝込んでしまうので精神的にもかなり追い詰められる。結果として他の授業の課題をかなり犠牲にしている。自分の容量のなさも勿論自覚はしているが、無理なものは無理だし、「体調を崩すな」と言及されることが辛い。こっちも好きで休んでいるのではない。加えて成果展の運営にはかなり無理があり、期末の時期にあんなことをしていたら確実に単位を落とすので時期ややり方を見直すべきだと感じる。正直今の形のままでは2度とやりたくない。

設備をもう少し充実させて欲しい。

必須と選択科目が被ることも多く、一単位が多い気がした。単位は予習復習の時間も考えて単位化されていることは知っているが、常に1 単位以上の時間を費やしているため、1 単位は納得できない授業もある。

一つ、学校に来てあまり助言などがもらえず、来た意味があるのかと感じた課題があった。それ以外は満足している。

教授の経歴やデザインしたものだけでなく、専門分野の知識を深めるための講義を聞いてみたいし、学生同士で議論するのも必要な時間だと思います。

カリキュラム外の活動が多いような気がする。カリキュラムに入るならシラバスに明記するなどしてほしい。

毎日17:30 までやるのが理解できない。アルバイトの時間も取れないし、他の大学が早く帰れているのに対し、この大学は大したこともしていないのに帰る時間が遅い。

グダグダしてるのを辞めてほしい、退学させてほしい。

外部からの先生のセミナーがあれば参加したいと思う。

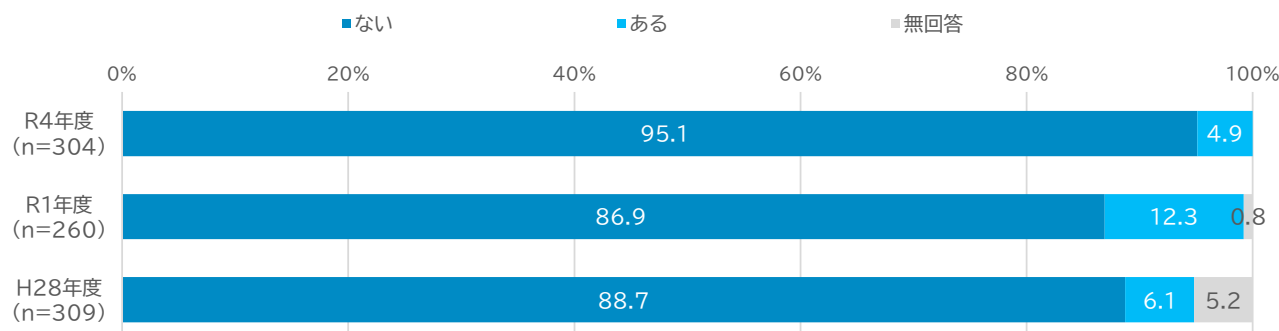
<自由記述>

実技系の科目を後期に固めないでほしい。
琉球芸能専攻にあるバリ舞踊の授業を受けたい。
あまりにも制作期間の短さと制作内容が見合っていない時があるので改善して欲しい。
工房についてや工芸をどのように売っていくのかといった授業がほしいです。
作家訪問や工房見学など、実際に卒業して参考になるような授業を多く受けたい。
もっと個人的には同じ専攻の人と美術の話をしたい。みんな美術の話をするのが嫌らしい。そんなんじゃないかなと思う。講評でも出来るだけ個性を否定しない流れがあるがあれもどうかと思う。みんなで討論してみんなで考えて成長していくのが個人的な望み。上の学年見てもそのなああ精神の結果みたいな感じがする。
制作するものによって生徒それぞれ使う材料の量が異なるのは分かるが、既に課題を終わらせた生徒が余った時間を活用して行っているの自由制作に材料が使われ、終わっていない生徒の課題分の材料がギリギリになることがあったので、目安でいいので材料を生徒ごとに確保しておいてほしい。
分野分け前に、先輩方の作業を見学する時間が欲しかったです。
もう少し早く予定表があると、用事の都合がしやすい
授業では、工程を身につける為にもできるだけ長い休暇は挟まないようにしてほしい。授業期間が 5 日だけのものなど短期間だとじっくり思考して取り組めないで、結果的に授業に充実感や満足感を持てない。休日や長期休暇でも学校で作業できると良い。
油画と日本画での合同の授業では生徒の私語が目立つ時は教員から注意してもらえるとありがたい。
演奏員を指名出来るようにしてほしい。
変更等を前もって伝えてほしい。
卒論の担当は複数人欲しい。テーマが複数の領域に被る場合に一人だけだと偏る。
門下によって 1 時間 30 分のレッスンだったり、1 時間だったりレッスン時間がバラバラなので、統一して欲しい。多くの時間勉強したいので、1 時間 30 分レッスンできてる生徒が羨ましいと思ったことがあった。また、オペラはパーテーション無しで勉強してみたい。試験曲や、学内演奏会の時の演奏時間が 10 分以内が多く、もう少し長めに設定(15 分など)しても良いんじゃないかと思った。時間制限により、歌えない曲が出てきたりするのは勿体無いと思うから。また、時間を越えなければ歌曲だけでなく、可能であればアリアも追加可能にして欲しい。
作家訪問など卒業後を視野に入れたような授業をもっと受けたいです。

Q33 教職課程科目の要望(教職課程科目について、要望することはありますか。)

教職課程科目の要望について、「ない」の割合が 95.1%、「ある」の割合が 4.9%となっている。

過去2回の調査と比較すると、「ない」の割合は増加し、令和4年度の割合に比べると 8.2 ポイント増加している。。

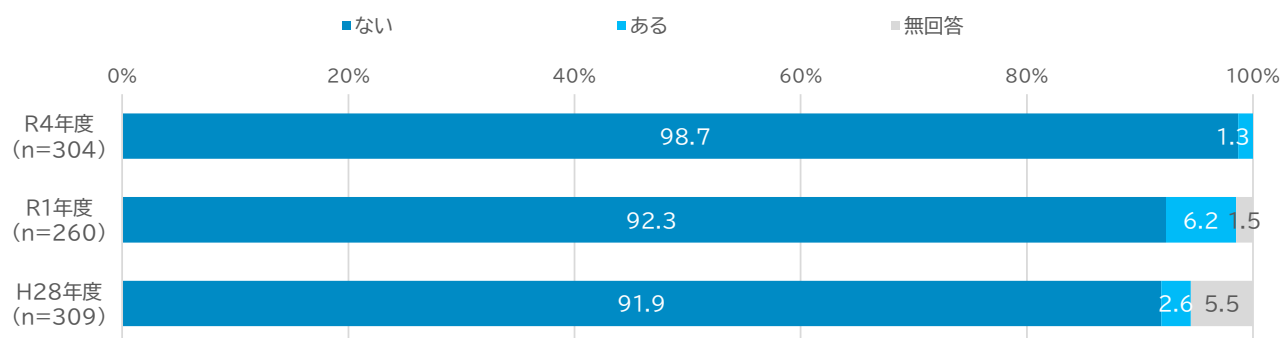


<自由記述>

課題が多すぎる。(4)
必修を抽選科目にしないでほしい。(4 件)
ある先生のみ非常に授業が分かりにくい。評価制度に主観が強く表れすぎて偏っており、その他にあるもっと重要なことを見逃している。80 分という授業時間で多くの学びを得たいのに、話の要点が掴みづらく非常に残念。授業の向上を望む。
授業内でタブレットの活用をお願いしたい。教育実習で生徒が使用していたが、扱い慣れていないため活用できなかったため。また、音楽科教育法では指導案作成や模擬授業に時間を当ててほしい。アルトリコーダーの演習が多かったが、実際の現場ではそこまで使われていない。リコーダーを吹けないことより、指導案を作成できない方が足手まといになるため、大学で厳しく指導してほしい。
教育実習のオリエンテーションの時期を早めるか、教育実習の申し込みの旨を 2 年生の時点で伝えるべきだと思う。沖縄県内の教育実習は内地に比べて遅いので 3 年の 5 月に知らされても間に合うが、私の高校は 4 月 1 日に受付締め切りだったので何も知らなければ申し込みすらできなかった。私は知っていたし自分で調べていたので大丈夫だったが、そうでない人もいると思う。そして、教職課程に必要な授業と博物館課程に必要な授業をぶつけるのをやめてほしい。
どれを取ったらいいかわからない。
実習の授業時数の上限を決めてほしい。圧力のある担当教員にはキャパオーバーでも言い出せない。
同じ授業が多い。
事前に連絡する場合は、早めに連絡してほしい。

Q34 博物館学課程科目の要望(博物館学課程について、要望することはありますか。)

博物館学課程科目の要望について、「ない」の割合が98.7%、「ある」の割合が1.3%となっている。過去2回の調査と比較すると、「ある」の割合が年々増加している。



<自由記述>

上にも記載したが、博物館課程の必修授業と教職課程の必修授業の時間割を考えて欲しい。ぶつけられると困る。

教職課程の必修授業とかぶったり専攻の必修授業と重なったりするので遅い時間(6限)とかがいい。もしくは後期の授業に博物館課程の必修がたくさんあるので前期のときにも受けれるようにしてほしい。

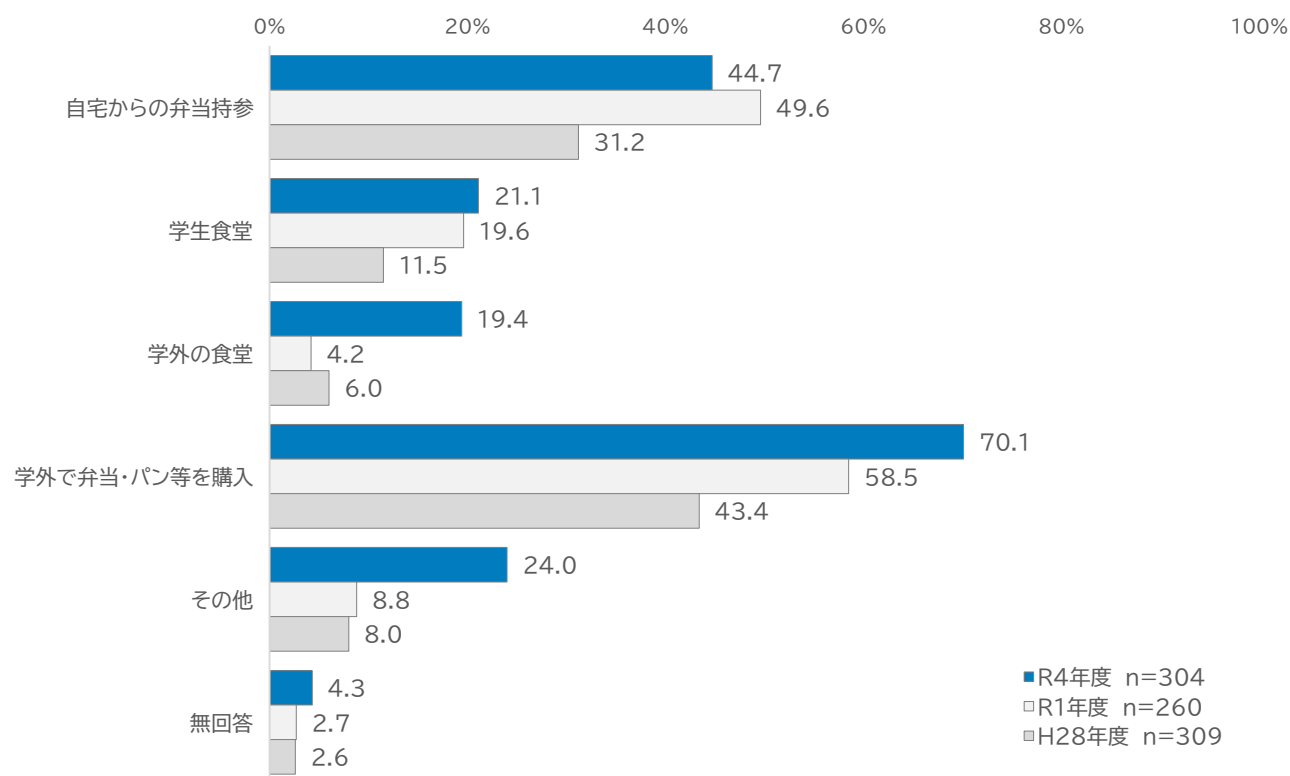
今学期が中国語の履修とかぶってしまい(昨年度抽選に外れた為)来年度受講してもよいと言われたので、実習を希望しているため受講したが、中国語が今年、2年生が半分以上受講していたので、来年の受講生も困るのではないかと。

レポートの文字数を少なくしてほしい。

Q35 昼食手段(昼食はどのような手段で摂っていますか。週に何回かで回答してください。)<複数回答>

昼食手段については、「学外での弁当・パン購入」(70.1%)が最も高く、次いで「自宅から弁当持参」(44.7%)、「その他」(24.0%)、「学生食堂」(21.1%)、「学外の食堂」(19.4%)となっている。

過去2回の調査と比較すると、「学外での弁当・パン購入」、「その他」、「学生食堂」、「学校外の食堂」の割合で増加している。特に、令和4年度の「学外の食堂」(19.4%)では、令和元年度(4.2%)より 15.2%増加している。



Q36 学生食堂の満足度(学生食堂に対する満足度を教えてください。) ※今年度新規追加項目

学生食堂の満足度については、「どちらとも言えない」(24.0%)の割合が最も高く、「わからない」(23.4%)、「やや満足」(19.1%)、「満足」(16.4%)、「やや不満」(11.2%)、「不満」(5.9%)と続く。

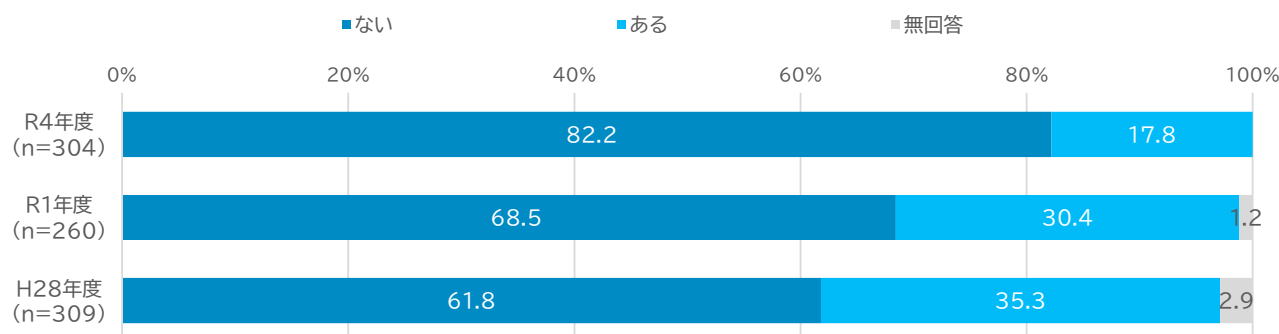


<自由記述>

メニューが少ない。(24)
安くて美味しい。(20 件)
値段も安く、量も多いため満足。(12 件)
あまり利用したことないのでわからない。(11 件)
若干高い。(8 件)
あまりおいしくない。(5 件)
開いている時間が短い。(5 件)
美味しく、ちょうどよい量。(5 件)
食券機で千円が使えないことが多い。(4 件)
空いている時間が長くはないので時間帯が合わないことがある。(4 件)
料理が冷めてる。(4)
日替わり定食があるのがありがたい。(2 件)
おじさんおばさんがとっても優しい。(2 件)
カレーがおいしい。(2 件)
崎枝校にも開設してほしい。(2 件)

Q37 学生食堂の要望(学生食堂の提供する食事(営業法など)について、要望することありますか。)

学生食堂の要望について、「ない」の割合が82.2%、「ある」の割合が17.8%となっている。
過去2回の調査と比較すると、「ない」の割合が年々増加している。



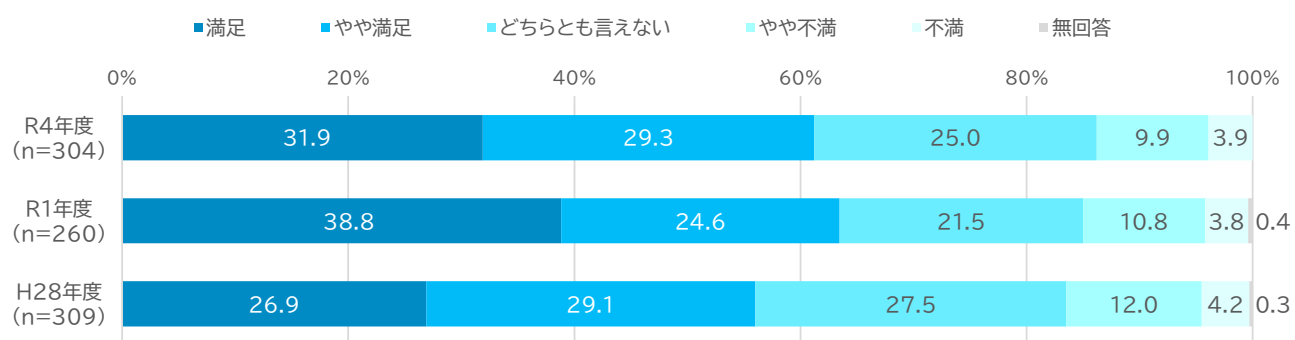
<自由記述>

メニューを増やしてほしい。(15 件)
営業時間が短いように思います。(7 件)
食券機に 1000 円が受け入れられず、いつも食堂の方に両替させて頂いてるので、直せたら直した方が良くと思う。(5 件)
崎山キャンパスへ行く時は時間がなく利用しづらいので、サッと食べられるメニューがあれば良いなと思いました。おにぎりやサンドイッチなどがほしいです。(4 件)
定食だけでなく、単品メニューも増えるととても助かる。量が多くて崎山へ行くバスが出る時間までに食べ終われないときがあるので。(4 件)
毎月の献立と資料室の開館日みたいに書いてあるとうれしい。(3 件)
もうちょい温かい料理がいいな。(2 件)
デザートもほしい。(2 件)
崎山キャンパスにも設置してほしい。(2 件)
もっと献立が充実していたら利用したいです。外部の美味しいところが入ってくれたりしたらうれしいです。あと、工芸棟の方でもパン以外にお弁当なども販売があるとうれしいです。
美味しくして欲しい。
もう少しコスパを良くしてほしい。
土日祝日に授業がある場合もあるので、土日祝日も開いていると嬉しい。
お弁当やおにぎりなど持ち運びできる形態。
現金以外の決済があると利用しやすい。
逆に学生が食堂でバイトできるようにはできないのか。
どう利用するのか中の雰囲気などが知りたい。

Q38 事務職員対応の満足度(事務職員の窓口対応は適切に行われていますか。)

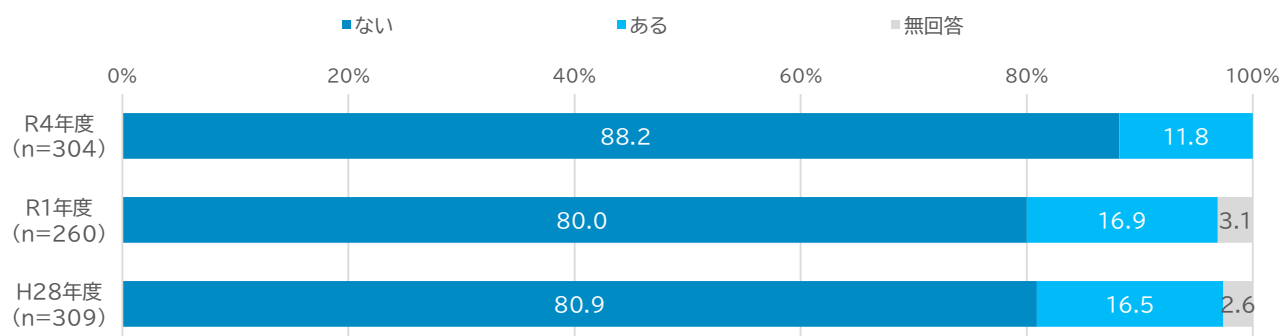
事務職員対応の満足度について、「満足」(31.9%)が最も高く、「やや満足」(29.3%)、「どちらとも言えない」(25.0%)、「やや不満」(9.9%)、「不満」(3.9%)となっている。

過去2回に調査と比較すると、令和元年と同様に「満足」(31.9%)と「やや満足」(29.3%)を合わせた割合(61.2%)をみると、6割以上が満足と感じている。



Q39 事務職員対応の要望(事務職員の窓口対応について、利用しやすくするために要望することはありますか。)

事務職員対応の要望について、「ない」の割合が88.2%、「ある」の割合が11.8%となっている。
過去2回の調査と比較すると、「ない」の割合は増加している。



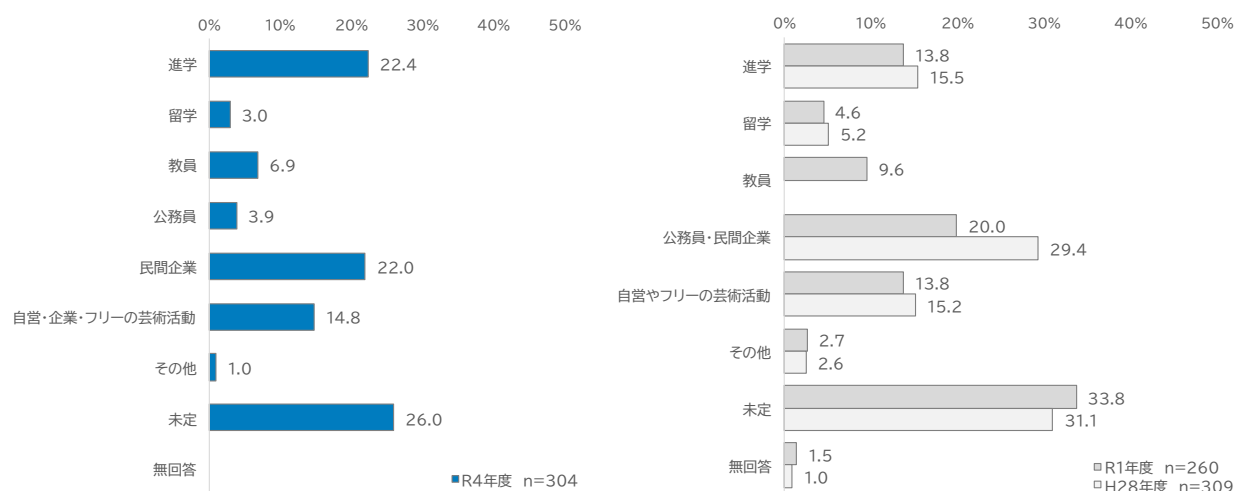
<自由記述>

もっとスピード感を持って仕事をしてほしい。(8 件)
閉まる時間が早すぎる。17 時半にしか授業終わらないので、その時間以降も空いてほしい。せめて 18 時くらいまで開いてほしい。(5 件)
崎山キャンパスと業務内容を提携して欲しい、お昼休憩の時間をずらして欲しい。(3 件)
職員が休みで対応が遅れることがある。例えば奨学金の担当を増やすなどしてほしい。(3 件)
対応ができる人とできない人の差があり、常に対応してもらえるわけではないので、事務職員の全員が仕事内容を理解しておいて欲しい。(4 件)
たまに重要な連絡の折り返しが忘れられている時があるので、その辺りを徹底してほしいです。(2 件)
祝日に授業がある日も誰かはいて欲しい。過去に皆で困ったことがあった。
皆さん本当にとても優しくおだやかでありがたいです。要望じゃなくてすみません。他に書くところがなかったのだからこちらに書いてしまいました。
質問したら、わかりやすく教えてほしい。
崎山キャンパスで実技をしている生徒は、授業後当蔵キャンパスに行っても窓口が利用できないので、営業時間を長くしてほしい。
学生の昼休みと職員の昼休みを被せないでください。13:00 以降に連絡いただいても制作しているため出られません。
土日メールなどの対応をしてほしい。
履修を UNIPA でやり易くなったが履修状況や卒業単位の確認が紙媒体の時よりも見づらい。1～2 年の紙媒体での履修状況の確認ができるようにしてほしい
優しくない、メール対応の人が特に。
しっかりしてほしい。
めんどくさそうに対応されて怖いです。
声をかけても無視されたことがある。返答してほしい。

Q40 卒業後の進路希望(卒業後(修了後)の進路の第一希望は何ですか。)

卒業後の進路希望について、「未定」(26.0%)が最も高く、「民間企業」(22.0%)、「進学」(22.4%)、「自営やフリー芸術活動」(14.8%)、「教員」(6.9%)、「公務員」(3.9%)、「留学」(3.0%)、「その他」(1.0%)となっている。

過去2回の調査と比較すると、「進学」の割合は増加し、「未定」は減少傾向にある。



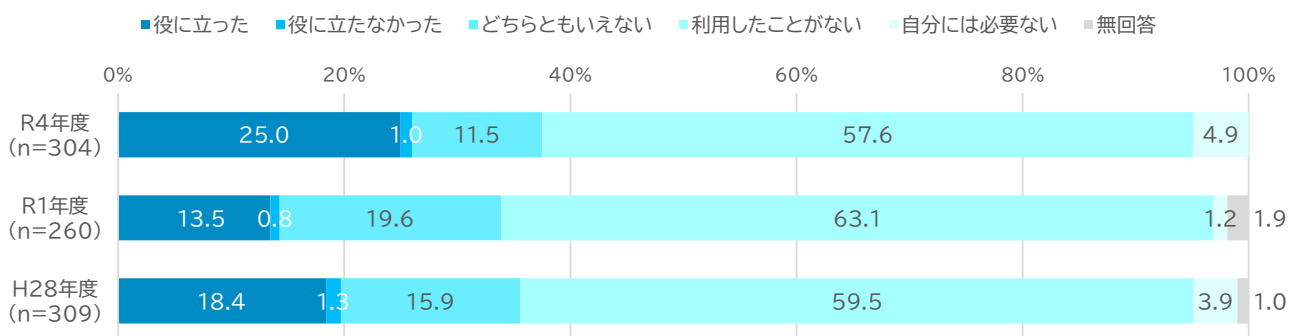
<自由記述>

研究者。
漫画家。
家事手伝いと介護。

Q41 就職相談ガイダンス・就職支援アドバイザー(就職支援アドバイザーによる就職相談について)

就職相談ガイダンスや就職支援アドバイザーについて、「利用したことがない」(57.6%)が最も高く、「役に立った」(25.0%)「どちらとも言えない」(11.5%)、と続く。

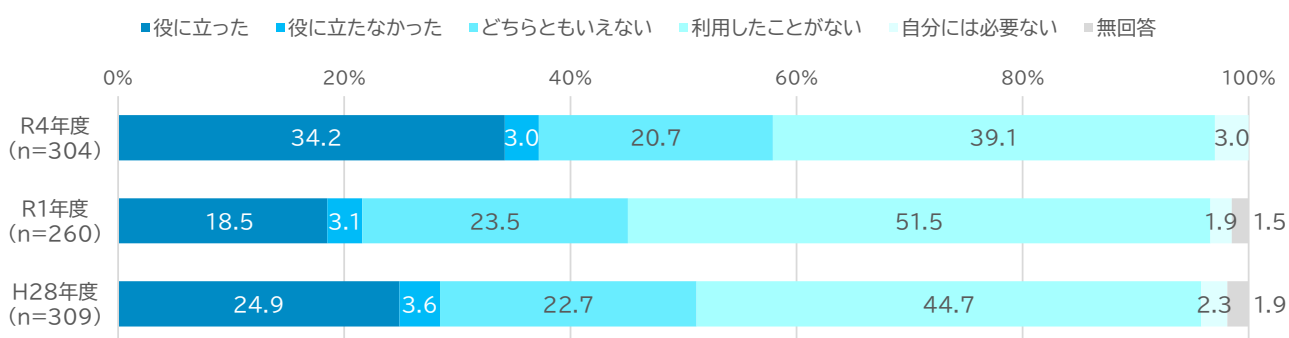
過去2回の調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が減少し、「役になった」の割合が増加している。「利用したことがない」の割合は5割超えで例年高い割合の傾向にある。



Q42 進学・就職に関する教員の説明指導(進学や就職に関する職員の説明や指導について)

進学・就職に関する職員の説明指導について、「利用したことがない」(39.1%)が最も高く、次いで「役に立った」(34.2%)、「どちらとも言えない」(20.7%)、「役に立たなかった」(3.0%)、「自分には必要ない」(3.0%)となっている。

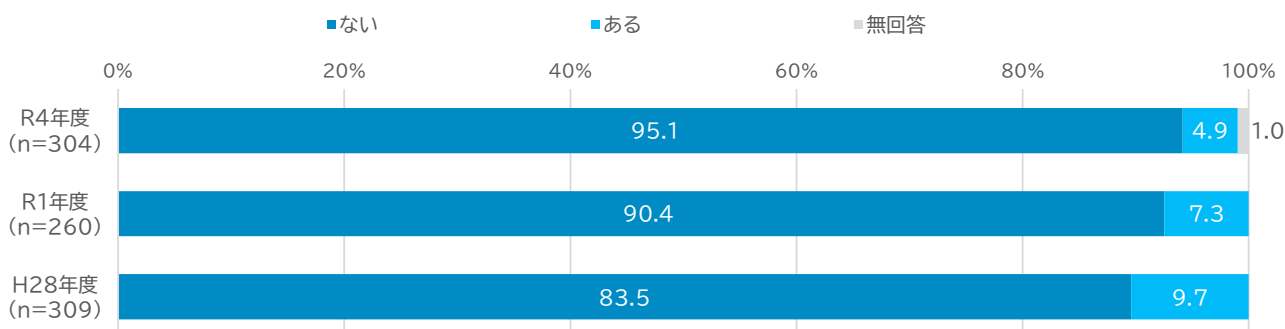
過去2回の調査と比較すると、「利用したことがない」割合が令和元年度(51.5%)に対し令和4年度(39.1%)は減少し、「役に立った」、「役に立たなかった」、「どちらとも言えない」を合わせた「利用した」(57.9%)の割合が増加した。



Q43 進学・就職に関する要望(進学や就職に関する本学の指導や説明について要望がありますか。)

進学・就職に関する要望について、「ない」の割合が 95.1%、「ある」の割合は 4.9%となっている。

過去2回の調査と比較すると、「ない」(95.1%)の割合は、令和元年度(90.4%)、平成28年度(83.5%)よりも高くなっている。



<自由記述>

専門的な技術を学ぶ大学のため、一般大学と比べて就活解禁！などのスタートラインが無い分、のんびりと大学生活を送っている気がする。具体的にいつ頃までに進路の見通しをつけるなど、指導教官と話す時間があると助かります。
インターン情報をもっと欲しい。
オンデマンドなどで後から視聴できるようにしてほしい。
まずその機会がありません。
一年の内から何をしたいのかを知っておきたかった。
進学や就職に関する指導の回数が少な過ぎる。
一日だけでもいいので美術系の就活の授業が欲しいです。
学部ごとに就職説明会があれば嬉しいです。学生間でも就活のやり取りはしていますが情報が少なく困ることが多いです。
進路アドバイザーの方で、セクシャルハラスメントに触れるような発言をされ、嫌な気持ちになった。アドバイザーの方は悪い人では決まっていなため、進路相談に行かないという手段は取りたくないと感じている。そのため、言葉には気をつけていただきたいと感じた。
相談しに行った際に、〇〇さんって、〇〇ですよ、というような決めつけられるような印象を受ける言葉が多く見られ、あまり関係が構築されていない状態の時に言われたので、不快に感じたため、言葉の表現に気をつけてほしい。
フリーランスや作家活動についての勉強ができる時間をもっと増やして欲しいです。キャリアデザインの授業では一時限だけその授業がありますが、履修している生徒は1部ですし、芸術大学なので作家活動やフリーランスについて全生徒が勉強した方が良くと思います。
就活支援員の方の情報も大変役に立ちますが、より専門的な内容を知るために、教授や芸術系の専門的な方からの就活・進学に関して情報を得る機会があればいいと思う(例えばセミナーのような)。
1年生の時から就職、進学についての具体的な説明や流れを周知して欲しい。
学内でも大規模に指導をしてほしい。
絵の売り方、値段の付け方のような授業が欲しかった。

Q44 学生会の設置意向(学生会が大学にあった方がよいと思いますか。) ※今年度新規追加項目

学生会の設置意向については、「どちらとも言えない」(75.0%)の割合が最も高く、「はい」(14.5%)、「いいえ」(10.5%)と続く。



<自由記述>

現状、特に問題がないからです。
芸祭の時にも感じましたが、大学側と学生間で直接やり取りをする機関があってもいいと思います。
人によって連絡が回ってこないことあるから学生会があった方がいいと思う。
あっても何をするのかよくわからない。
卒業後にも同じ大学出身の人と関われるのはいいと思うが、同窓会費などでこれ以上に出費が出ると厳しい面があるため。
交流する機会になるから。
生徒同士の交流が少ない（特に他学部との）と感じるため。
学生が成長する機会になると思う。
専門科目に専念したい。
学生会が何かわからない。
コロナ渦の影響もあってか、より学生間の交流が減っていると感じるから。もっとイベント運営などを効率よく進められるように。
必要ないため。
上下の学年でかつ他の学科、学部と関わる機会が少ないので関わる架け橋になると思う。
楽しそうだから。
私が新入生ときコロナで資料での説明が多く戸惑う部分があった。学生会があれば気軽に先輩後輩の中も作れ、相談ができたのではないと思った。
学生会というものが具体的に何をやるものかよく分からないからです。
学芸祭を行った際、学校側の意見や知識が学生全員に回っていないと感じた。。学生側に代表をおいて、学校側の意見を学生全員に共有する人材が必要な気がする。
コミュニティが作りやすいかなと思ったので。
もっとより良い大学にできそうだから。
無くても困らないから。
文化祭での演奏会トラブルなど踏まえ、学生の総合窓口的なものがあった方がいいと感じたから。
コロナになってから学生間のつながりが薄く、不安なことがあっても相談しづらい状況にあると思う。
専攻外の人間と交流を持ちにくいから。
大学はなにかを強制させる義務は持っていません。芸大祭でも協力的な人は極少数であったのに学生会を作ったとしても誰も協力してくれないと思います。
今のところなくても困ってない。
学生会が何をやるのかわからない。
あったら参加したいです。

<自由記述>

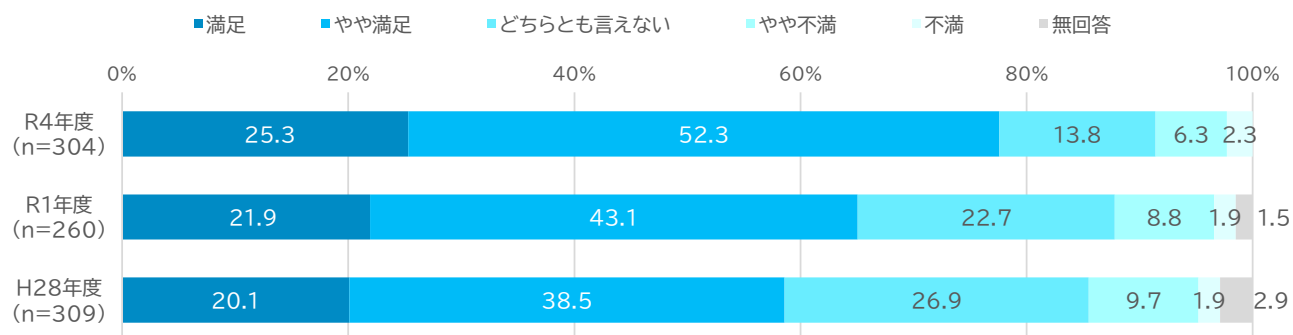
直接的には役に立たないと思う。
アンケートや意見箱設置の配慮がある。教員に意見を伝えやすい環境が整っている（音楽学部は）。音楽と美術では環境含め接点がなく、コミュニティが完全に別である。
大学内で学生に不利益が出るトラブルが出た際に対応できるから。
拘束時間が増えるから。
特段の必要性を感じていないため。
バイトが忙しいから。
冲芸際は何をしたらいいか全く分からなかった。
学生会とはいかなものか存じ上げないゆえ興味をそそられた次第であります。
みんな不満あると思うから。
学園祭などの短期の生徒中心の活動だけでも、あたふたしているし、あまりまとまらないのに、学生会があってもみんな混乱するだけだと思います。
また、学生会などを作ることによって生徒間に格差が生まれてしまうと思います。
熱心にやる人がいれば、イベント事も増え、学校が活気づきそうだったから。学校をより良くするアイデアが実現できる場だったから。
学生会があっても機能しないと思う。
おもしろそう。
学内でのイベント等を自分達で企画して実際に活動出来るともっと県立芸大が盛り上がるし就活にも実績として役立つと思うから。
学生生活において大切なイベントだから（運営体制を整えることも必要）。
学外の活動に時間をとられてしまっていて参加が難しい。
コロナ禍の影響もあって学生同士の交流がほとんどないと感じる。
先輩方に会う機会もあまりない。
全体での交流があった方がそれぞれに刺激を受けれると思う。
そもそも学生会が具体的に何をやる場なのかが分からない。
そんな時間の余裕はない。
必要性がまだ分からないから。
いろんな人と仲良くなれる。他学科との交流。
コミュニティーの場が広がると良いと思いました。
思い出と人の繋がり。
その必要がないと思います。
今は必要ないと感じた。
交流が深まりそうだから。
他学部とのつながりがうすいように感じるから。
必要性を感じていないから。
芸大祭をやってみて、イベント事に協力的な学生はほんのひと握りだと分かったので、学生会があった所で何か変わるのかと言われたら変わらないのではないかと思います。

Q45 学生生活満足度(総合的にみて、現在の学生生活にどの程度満足していますか。)

学生生活満足度について、「やや満足」(52.3%)が最も高く、次いで「満足」(25.3%)、「どちらとも言えない」(13.8%)、「やや不満」(6.3%)、「不満」(2.3%)となっている。

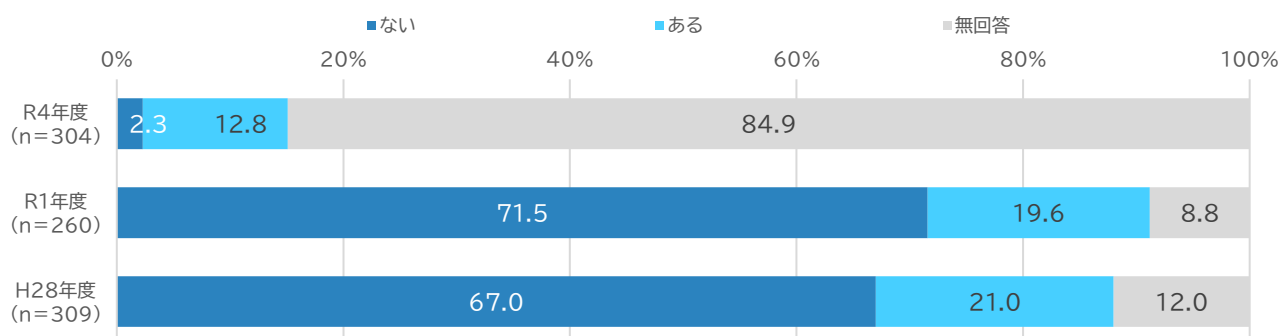
「満足」(25.3%)と「やや満足」(52.3%)を合わせた7割以上は、学生生活に満足であると感じている。

過去2回の調査と比較すると、「やや不満」と「不満」を合わせた何らかの「不満」を感じている割合は、平成28年度(11.6%)、令和元年度(10.7%)、令和4年度(8.6%)と年々減少している。



Q46 その他要望・意見(これまでの回答の補足やその他の問題について、また、施設や制度の要望等、何か意見があれば右のページに書いてください。)

その他要望・意見について、「ない」に割合は 2.3%、「ある」の割合は 12.8%、「無回答」の割合は 84.9%となっている。R1年度の調査と比較すると、「ない」の割合は 69.2%減少、「ある」の割合は 6.8%減少、「無回答」の割合は 76.1%増加している。



<自由記述>

当蔵から崎山まで首里駅前のローソンにあるような貸し自転車の設置があれば良いと思ってます。交通手段が増えると思います。
壊れている時計を直して欲しいです。
お昼だけでなく授業終わりの 17 時あたりにも食料が欲しいです。
当蔵キャンパスのトイレが綺麗になってとても嬉しいです。ありがとうございます。綺麗に使いたいです。
練習室が少ないと思います。
駐車場でこぼこを埋めていただけるとありがたいです。
シラバスは前期後期、通して読めるようにしてほしいです。
夜8時まで申請書類なしで学校に残れるようにしてください (できれば夜8時以降も残りたい)。
体育館利用申請をもっと簡単にしたい。例えばユニパで登録できたりして欲しい。
学年歴をもっと見やすく分かりやすくまとめてほしい。院生と学部生を分けてほしい。待機教室をゆにぱで掲示してほしい。
絵画棟のトイレ、扉も便座もぼろぼろなので、少しでもよくなれば良いかなと思います。
時計を直して欲しい。
学部や大学院を終了後そのまま研究生として残る場合の入学金を減額または無くしてほしい。外部からの入学や、卒業から年月が経ってからの入学との違いがあっても良いのではないかと感じた。研究生は、奨学金をもらうこともできず、学生の返済免除の対象にもならないので、せめて入学金の負担が減ると嬉しい。
各キャンパス内に画材店があると嬉しい。崎山キャンパスにも食堂か弁当販売があると嬉しい。

<自由記述>

崎山キャンパスで使用する電気量の上限緩和をお願いします。すぐ止まってしまう、備え付けパソコンにも影響が出る時があり、授業になりません。
ゆっくりできる場所があればうれしいです。カフェテリア的なものがあると、もっと学内で過ごしやすくなるのではないかなと思います。
学内に生協(売店)を設置してほしい。
音楽棟の除湿機が満水のまま放置されていることが多く、(教員や職員の方々にお伝えするにははばかれるほど些細なことなので)学生自身が水を捨てられるようにして頂けた方が、湿度が気になる専攻楽器の者としては嬉しいです。または、現状のままで、満水を解消させる正しい方法があるのであれば教えていただきたいです。
普通の大学生活を過ごしてみたい。
トイレを綺麗にしてほしい。
時計を直してほしい。
ユニパは通知が来ないと見ようと思わないから情報を見逃してしまう。
駐車場の舗装をしてほしいです。当蔵キャンパスもですが、特に崎山キャンパスの学生駐車場はひどいです。車によっては下を擦ってしまうのではないかと思います。かわいそうです。
芸術棟が全体的に使用しづらい。特にトイレ。
事務の対応が遅いと感じることがあるので、改善してほしい。
音楽学部比べて、工芸や日本画の生徒が使えるスペースが無さすぎて困ります。 音楽学部練習室があるなら、美術工芸学部の生徒にも個人で簡単に借りられる実技室が欲しいです。
大学に画材屋を入れてください…本当をお願いします。
音楽棟 1 階のベンチで以前のように吹けるようにして頂けるとありがたいです。 駐車場の穴についてですが、アスファルトで屋根があるところになるとめっちゃ嬉しいのですが(車が傷つくため)、車のお腹が当たってしまうので穴を埋めていただけると幸いです。
崎山キャンパスの学生駐車場に街灯がなく、夜は真っ暗で何も見えません。安全性に欠けると感じるため、街灯が欲しいです。 また、崎山キャンパスの裏の出口の道路がひび割れています。そこで車がパンクした学生を 2 人見たことがあります。自転車の学生がその段差で転んで、足が血だらけになっていたこともあります。道路のひび割れを直して頂きたいです。
崎山キャンパス工芸棟の空調設備からたまに水が漏れてくるので改善して頂けるとありがたいです。
崎山キャンパスで学生用駐車場が砂利と凹凸がすごいので平らにして欲しい。駐車場のラインも雨が降ると全然見えなくて事故になりそうなので、目視しやすいようにして欲しい。
博士課程の学生は一学年におそらく 3 名しかおらず、アンケート結果からすぐに個人が特定されそうだと感じる。ポジティブな内容については回答しやすいが、そうでない場合は答えづらい。
コロナで受けられなかったらイベントを出来れば体験したい。 絵画棟のグラウンド側の階段の電気をつけて欲しい。
昨年、美術棟地下実習室の入り口で雨で滑って転倒し左半身打撲したので、段差のステンレス？みたいなのを雨でも滑りにくいようにした方がいいと思う(梅雨の時期に滑ったのと、芸術学一年生が使うのでちょうど慣れてくるころだから、このままだと滑って骨折する人が出てもおかしくないと思う)。

<自由記述>

崎山キャンパスの学生駐車場に、電灯(電柱)をつけて欲しいです。冬場などは 18 時を過ぎるととても暗くて、携帯電話の明かりをつけない限り何も見えません。坂道もありますし、ハブなどが怖いです。

教授をもっと人として選んだ方がいいと思います。とても不満です。工芸はとても満足です。

絵画棟の施設が古すぎて問題も発生しているため、新しく建て直して欲しい(崎山キャンパスレベルを希望)。

授業が始まる鐘が 2 分ほど早く鳴るのを直して欲しい。

学生食堂にも Wi-Fi が通ってたら良いと思う。

第4章 クロス集計

(1) 学生生活の現状について

■ 住まい別

住まい別の通学時間についてみると、自宅住まいでは、30分以上の通学時間の割合が高くなっており、アパートでは30分以内の割合が高くなっている。

住まい別の通学手段は、自宅住まいが「乗用車」(73.2%)の割合が高くなっている。

住まい別の奨学金受給状況についてみると、僅差ではあるがアパート住まい(54.9%)の受給率割合が高くなっている。

住まい別のアルバイト状況についてみると、「アルバイトをしている」の割合が高いのは、アパート住まい(69.0%)となっている。

<Q1 お住まい×Q2 通学時間>

(%)

		全体	通学時間				
			15分未満	15～30分未満	30分～1時間未満	1～2時間未満	2時間以上
全体		304	24.0	35.5	30.9	8.9	0.7
住まい	自宅	153	10.5	28.8	42.5	17.6	0.7
	親戚宅	6	33.3	33.3	33.3	-	-
	アパート	142	38.7	43.0	18.3	-	-
	その他	3	-	33.3	33.3	-	33.3

<Q1 お住まい×Q3 通学手段(複数回答)>

(%)

		全体	通学手段(複数回答)						
			徒歩	自転車	原付・自動二輪車	乗用車	バス	モノレール	その他
全体		304	37.5	11.5	11.2	43.8	18.4	14.5	1.3
住まい	自宅	153	17.6	4.6	3.3	73.2	23.5	15.0	2.0
	親戚宅	6	50.0	16.7	-	33.3	16.7	33.3	-
	アパート	142	58.5	18.3	20.4	12.7	13.4	12.7	0.7
	その他	3	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3	-

<Q1 お住まい×Q4 奨学金受給状況>

(%)

		全体	奨学金受給状況	
			受けている	受けていない
全体		304	51.3	48.7
住まい	自宅	153	48.4	51.6
	親戚宅	6	50.0	50.0
	アパート	142	54.9	45.1
	その他	3	33.3	66.7

<Q1 お住まい×Q5 アルバイト状況>

(%)

		全体	アルバイト状況	
			アルバイトはしていない	アルバイトをしている
全体		304	37.5	62.5
住まい	自宅	153	43.1	56.9
	親戚宅	6	50.0	50.0
	アパート	142	31.0	69.0
	その他	3	33.3	66.7

■ 通学時間別

通学時間別の住まいについてみると、30 分以内では「アパート」住まいの割合が高く、30 分以上では「自宅」住まいの割合が5割を越える割合となっている。

通学時間別の通学手段についてみると、15 分未満では「徒歩」(52.1%)の割合が高くなっており、通学時間が長くなるにつれて、「乗用車」の割合が上昇している。

<Q2 通学時間×Q1 住まい>

(%)

		全体	住まい			
			自宅	親戚宅	アパート	その他
全体		304	50.3	2.0	46.7	1.0
通学時間	15分未満	73	21.9	2.7	75.3	-
	15～30分未満	108	40.7	1.9	56.5	0.9
	30分～1時間未満	94	69.1	2.1	27.7	1.1
	1～2時間未満	27	100.0	-	-	-
	2時間以上	2	50.0	-	-	50.0

<Q2 お住まい×Q2 通学手段(複数回答)>

(%)

		全体	通学手段							
			徒歩	自転車	原付・自動二輪車	乗用車	バス	モノレール	その他	
全体		304	37.5	11.5	11.2	43.8	18.4	14.5	1.3	
通学時間	15分未満	73	52.1	15.1	28.8	21.9	4.1	-	-	
	15～30分未満	108	36.1	16.7	9.3	44.4	15.7	11.1	-	
	30分～1時間未満	94	36.2	5.3	2.1	52.1	28.7	27.7	3.2	
	1～2時間未満	27	11.1	3.7	3.7	70.4	33.3	22.2	-	
	2時間以上	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0	

■ 通学手段別

通学手段別の住まいについてみると、徒歩や自転車、原付・二輪車では「アパート」住まいが 7 割以上と高くなっている。乗用車やバス、モノレールでは「自宅」住まいの割合が高くなっている。

通学手段別の通学時間についてみると、原付・二輪車の割合は「15 分未満」と「15～30 分未満」を合わせた 30 以内の割合は 91.2%と高くなっている。

<Q3 通学手段(複数回答)×Q1 住まい>

(%)

		全体	住まい			
			自宅	親戚宅	アパート	その他
全体		304	50.3	2.0	46.7	1.0
通学手段(複数回答)	徒歩	114	23.7	2.6	72.8	0.9
	自転車	35	20.0	2.9	74.3	2.9
	原付・自動二輪車	34	14.7	-	85.3	-
	乗用車	133	84.2	1.5	13.5	0.8
	バス	56	64.3	1.8	33.9	-
	モノレール	44	52.3	4.5	40.9	2.3
	その他	4	75.0	-	25.0	-

<Q3 通学手段(複数回答)×Q2 通学時間>

(%)

		全体	通学時間				
			15分未満	15～30分未満	30分～1時間未満	1～2時間未満	2時間以上
全体		304	24.0	35.5	30.9	8.9	0.7
通学手段(複数回答)	徒歩	114	33.3	34.2	29.8	2.6	-
	自転車	35	31.4	51.4	14.3	2.9	-
	原付・自動二輪車	34	61.8	29.4	5.9	2.9	-
	乗用車	133	12.0	36.1	36.8	14.3	0.8
	バス	56	5.4	30.4	48.2	16.1	-
	モノレール	44	-	27.3	59.1	13.6	-
	その他	4	-	-	75.0	-	25.0

■ 奨学金受給状況

奨学金受給状況別の住まいについてみると、奨学金を受けているでは「アパート」(50.0%)が「自宅」(47.3%)よりも割合が高くなっている。

奨学金受給状況別のアルバイト状況についてみると、奨学金を受けているでは、「アルバイトをしている」(64.1%)が、「アルバイトはしていない」(35.9%)よりも割合が高くなっている。

<Q4 奨学金受給状況×Q1 住まい>

(%)

		全体	住まい			
			自宅	親戚宅	アパート	その他
全体		304	50.3	2.0	46.7	1.0
奨学金受給状況	受けている	156	47.4	1.9	50.0	0.6
	受けていない	148	53.4	2.0	43.2	1.4

<Q4 奨学金受給状況×Q5 アルバイト状況>

(%)

		全体	アルバイト状況	
			アルバイトはしていない	アルバイトをしている
全体		304	37.5	62.5
奨学金受給状況	受けている	156	35.9	64.1
	受けていない	148	39.2	60.8

■ アルバイト状況

アルバイト状況別の住まいについてみると、アルバイトをしているでは「アパート」(51.6%)が、「自宅」(45.8%)よりも割合が高くなっている。

アルバイト状況別の奨学金受給状況をみると、アルバイトをしていて奨学金を「受けている」(52.6%)の割合は、アルバイトをしていないで奨学金を「受けている」(49.1%)の割合より高くなっている。

アルバイト状況別の授業等への影響についてみると、アルバイトをしているで、影響あると「思わない(そう思わない+ややそう思わない)」(44.7%)が「思う(そう思う+ややそう思う)」(35.3%)よりも高い割合になっている。

<Q5 アルバイト状況×Q1 住まい>

(%)

		全体	お住まい			
			自宅	親戚宅	アパート	その他
全体		304	50.3	2.0	46.7	1.0
アルバイト状況	アルバイトはしていない	114	57.9	2.6	38.6	0.9
	アルバイトをしている	190	45.8	1.6	51.6	1.1

<Q5 アルバイト状況×Q5 奨学金受給状況>

(%)

		全体	奨学金受給状況	
			受けている	受けていない
全体		304	51.3	48.7
アルバイト状況	アルバイトはしていない	114	49.1	50.9
	アルバイトをしている	190	52.6	47.4

<Q5 アルバイト状況×Q6 アルバイトによる授業等への影響>

(%)

		全体	アルバイトによる授業等への影響				
			そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	ややそうは思わない	そうは思わない
全体		304	10.2	25.0	25.3	11.2	28.3
アルバイト状況	アルバイトはしていない	114	14.9	20.2	34.2	1.8	28.9
	アルバイトをしている	190	7.4	27.9	20.0	16.8	27.9

(2)大学の施設や教育体制、支援体制について

■ 図書館の利用について

図書館の利用頻度別の図書館の要望についてみると、利用頻度が高いほど要望「あり」の割合が高くなっている。

<Q9 図書館利用頻度×Q10 図書館に対する要望>

(%)

		全体	図書館に対する要望	
			ない	ある
全体		304	82.9	17.1
図書館利用頻度	週に3回以上	2	50.0	50.0
	週に1～2回	14	64.3	35.7
	月に1～3回	94	77.7	22.3
	ほとんど利用しない	194	87.1	12.9

■ 保健室の利用について

保健室利用状況別の要望についてみると、要望「ある」の割合が高いのは、年に数回(16.2%)となっている。

<Q11 保健室利用状況×Q13 保健室等に対する要望>

(%)

		全体	保健室等に対する要望	
			ない	ある
全体		304	94.4	5.6
保健室等利用状況	月に数回	3	100.0	-
	年に数回	37	83.8	16.2
	ほとんど利用しない	264	95.8	4.2

■ 健康管理やカウンセリングについて

健康管理やカウンセリング体制の要望みると、要望「ある」の割合が高いのは、健康管理やカウンセリング体制が「不足している」(66.7%)となっている。

<Q12 健康管理やカウンセリング体制×Q13 保健室等に対する要望>

(%)

		全体	保健室等に対する要望	
			ない	ある
全体		304	94.4	5.6
健康管理やカウンセリング体制	充実している	42	92.9	7.1
	不足している	9	33.3	66.7
	どちらとも言えない	47	93.6	6.4
	利用したことがない	206	97.6	2.4

■ 体育館利用について

体育館利用頻度別の体育館の要望をみると、利用頻度の高くなるにつれて、要望「あり」の回答の割合が高くなっているが、全体では1割に満たない割合となっている。

<Q14 体育館利用頻度×Q15 体育館に対する要望>

(%)

		全体	体育館に対する要望	
			ない	ある
全体		304	94.4	5.6
体育館利用頻度	週に1回以上	20	80.0	20.0
	月に1～3回	15	80.0	20.0
	年に数回	18	100.0	-
	ほとんど利用しない	251	96.0	4.0

■ 初年次セミナーについて

初年次セミナー満足度別のセミナー要望をみると、満足度が高くなると要望「ない」の割合が高くなっている。

<Q28 初年度セミナー満足度×Q29 初年度セミナーに対する要望>

(%)

		全体	次年度セミナーに対する要望	
			ない	ある
全体		304	95.7	4.3
初年度セミナー満足度	満足	68	100.0	-
	やや満足	81	96.3	3.7
	どちらとも言えない	134	98.5	1.5
	やや不満	11	54.5	45.5
	不満	10	70.0	30.0

■ 専攻カリキュラムの満足度

専攻カリキュラムの満足度別の要望をみると、満足度が高くなるにつれて、要望「ない」の回答の割合が高くなっている。

<Q31 専攻カリキュラム満足度×Q32 専攻カリキュラムの要望>

(%)

		全体	専攻カリキュラムの要望	
			ない	ある
全体		304	91.1	8.9
専攻カリキュラム満足度	満足	129	99.2	0.8
	やや満足	116	89.7	10.3
	どちらとも言えない	50	84.0	16.0
	やや不満	6	50.0	50.0
	不満	3	-	100.0

■ 昼食手段について

昼食手段別の学生食堂の要望をみると、要望「ある」の割合が高いのは学生食堂の利用者で、3割となっている。

<Q35 昼食手段(複数回答)×Q36 学生食堂に対する要望>

(%)

		全体	学生食堂に対する要望	
			ない	ある
全体		304	82.2	17.8
昼食手段	自宅からの弁当持参	136	85.3	14.7
	学生食堂	64	70.3	29.7
	学外の食堂	59	81.4	18.6
	学外で弁当・パン等を購入	213	79.3	20.7
	その他	73	79.5	20.5

■ 事務職員の対応について

事務職員対応の満足度と事務職員対応の要望についてみると、満足度が高くなると、要望「ない」の割合が高くなっている。また不満では、「ある」(75.0%)の割合が高くなっている。

<Q38 事務職員対応の満足度×Q39事務職員対応に対する要望>

(%)

		全体	事務職員対応に対する要望	
			ない	ある
全体		304	88.2	11.8
事務職員対応の満足度	満足	97	99.0	1.0
	やや満足	89	97.8	2.2
	どちらとも言えない	76	88.2	11.8
	やや不満	30	50.0	50.0
	不満	12	25.0	75.0

■ 卒業後の進路希望について

学部生年次別の卒業後の進路希望についてみると、大学院 1 年では「未定」(45.0%)の割合が高くなっている。大学 3 年では、「民間企業」(40.3%)の割合が他の学年よりも高くなっている。

< 学年×Q40 卒業後の進路希望 >

(%)

		全体	卒業後の進路希望							
			進学	留学	教員	公務員	民間企業	自営・企業・フリーの芸術活動	その他	未定
全体		304	22.4	3.0	6.9	3.9	22.0	14.8	1.0	26.0
学年	学部1年次	85	22.4	5.9	9.4	5.9	12.9	14.1	-	29.4
	学部2年次	57	26.3	1.8	7.0	7.0	21.1	10.5	-	26.3
	学部3年次	62	14.5	1.6	4.8	3.2	40.3	9.7	1.6	24.2
	学部4年次	54	27.8	1.9	5.6	1.9	25.9	14.8	-	22.2
	大学院1年次	20	5.0	5.0	5.0	-	10.0	30.0	-	45.0
	大学院2年次	24	37.5	-	8.3	-	12.5	20.8	8.3	12.5
	大学院3年次	2	-	-	-	-	-	100.0	-	-

■ 卒業後の進路について

卒業後の進路希望別と教員の説明や指導体制についてみると、「進学」では「役に立った」(45.6%)の割合が4割を超え高くなっている。

卒業後の進路希望と指導・説明に対する要望についてみると、「ある」の割合が高いのは、「民間企業」(10.4%)希望者となっている。

<Q40 卒業後の進路希望×Q43 職員の説明や指導体制>

(%)

		全体	教員の説明や指導体制				
			役に立った	役に立たなかった	どちらともいえない	利用したことがない	自分には必要ない
全体		304	34.2	3.0	20.7	39.1	3.0
卒業後の進路希望	進学	68	45.6	2.9	17.6	33.8	-
	留学	9	22.2	-	-	66.7	11.1
	教員	21	38.1	-	9.5	52.4	-
	公務員	12	33.3	-	25.0	41.7	-
	民間企業	67	34.3	6.0	26.9	31.3	1.5
	自営・企業・フリーの芸術活動	45	35.6	4.4	13.3	40.0	6.7
	その他	3	-	-	33.3	33.3	33.3
	未定	79	25.3	1.3	26.6	43.0	3.8

<Q40 卒業後の進路希望×Q42 指導・説明に対する要望>

(%)

		全体	指導・説明に対する要望	
			ない	ある
全体		304	95.1	4.9
卒業後の進路希望	進学	68	97.1	2.9
	留学	9	100.0	-
	教員	21	100.0	-
	公務員	12	100.0	-
	民間企業	67	89.6	10.4
	自営・企業・フリーの芸術活動	45	93.3	6.7
	その他	3	100.0	-
	未定	79	96.2	3.8

■ 学生生活の満足度

学生生活の満足度とその他意見要望をみると、満足度が高くなると「ない」の割合は低くなっている。

「ない」の割合が最も高いのは、「どちらとも言えない」(7.1%)となっていて、「ある」の割合が最も高いのは、「やや不満」(26.3%)となっている。

<Q45 学生生活満足度×Q46 その他意見に対する要望>

		(%)			
		全体	その他意見に対する要望		
			ない	ある	無回答
全体		304	2.3	12.8	84.9
学生生活満足度	満足	77	1.3	9.0	89.7
	やや満足	159	1.9	13.2	84.9
	どちらとも言えない	42	7.1	14.2	78.6
	やや不満	19	0.0	26.3	73.7
	不満	7	0.0	0.0	100.0